

SHARP®

パーソナルモバイルツール

形名 **MI-E1**

取扱説明書

AVガイド



Zaurus

ムービープレーヤ



ミュージックプレーヤ



デジタルカメラ



付
録

困ったときは

[AVガイド]で今日から使いましょう

この『取扱説明書(AVガイド)』では、
3つの機能について、やさしく説明しています。
はじめてザウルスをお使いになる方も、
本書を読むと、簡単にマスターできます。



3つの機能

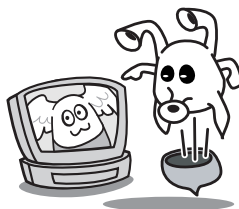
ムービープレーヤーで、MPEG-4の動画データが楽しめる

ミュージックプレーヤーで、MP3の音楽データが楽しめる

デジタルカメラカードで、画像データが楽しめる

ムービー プレーヤー

14ページ



MPEG-4 ビデオレコーダー(CE-VR1:
別売品)を使ってカードにお気に入りの
番組を録画し、ムービープレーヤー
で再生します。

録画したカードを持ち出せば、
どこでもムービーが楽しめます。

ムービーも、音楽も、カメラも、モバイル
さあ、ザウルスでエンターテインメントを楽しもう！

ミュージック プレイヤー

54 ページ



パソコンを使って音楽CDをカードに記録し、ミュージックプレイヤーで再生します。好みの音質で再生したり、再生中にアニメーションを表示したりすることができます。

デジタル カメラ

106 ページ



デジタルカメラカード(CE-AG06:別売品)を使って人物や風景などの写真を、4つの撮影モードから選択して撮ることができます。撮影した写真は顔写真付きのアドレス帳に利用したり、メールに添付して送信することができます。

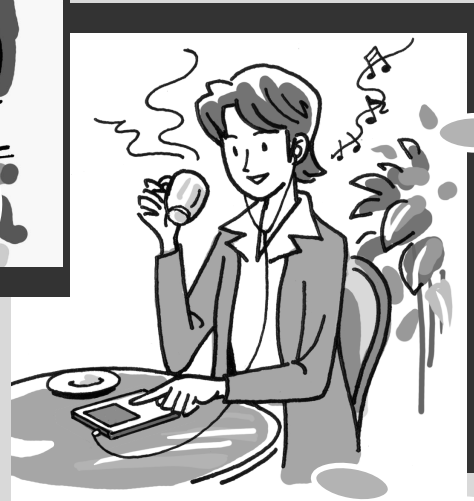
こんなことができます

エンターテインメントを持ち歩こう！



ビデオ見ながら。
音楽聴きながら。
カメラで撮って。

見たい映像を
どこにでも
持ち出せる



ムービー
プレーヤー

録る

見る

テレビやビデオを録る

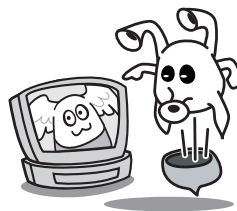
22ページ

録った映像を見る

27ページ

動画データをカードに録画していつでも
どこでもあなただけのプライベートシア
ターが楽しめます。

通勤電車の中で、ちょっとした空き時間
を利用して、ほっと一息。



音楽を聞きながらメールを受けれる、読める、送れる



ミュージック プレーヤー

お気に入りのCDを録る

69ページ

録った音楽を聴く

79ページ

録る

聴く

お気に入りのCDをカードに録音してカンタン再生。ブコビューアやマンガビューアのBGMとしてもおススメです。



デジタルカメラで撮った画像をメールに添付して送れる



デジタル カメラ

気軽に好きなものを撮る

111ページ

撮った画像を見る

117ページ

撮る

見る

撮った画像はメールに添付して送ったり、写真入りのアドレス帳を作ったり、利用価値大！



本書の見かた

1 はじめに

見出しと説明文を読み、これから操作する機能と目的を確かめます。

2 操作する

大きな操作ステップ(1、2、3……)
基本的な操作ステップです。操作ステップに従って操作してください。
小さな操作ステップ(①、②、③……)
画面上の操作が多いときなどに、操作の手順を説明しています。

3 くわしく

操作する前、または操作中に手順や画面の補足的な内容を枠で囲んで説明しています。また、操作をマスターした後、メモやコラムなどの補足説明や画面のくわしい説明を読むと、さらに内容がよくわかります。

1 これから行う操作の概要や前提を確認します。

聴く 好みの音質を選ぶ

音楽のジャンルに合わせて、通常の音質(ノーマル)のほかにも6種類の音質の中から選ぶことができます。

好みの音質を選ぶ

通常の音質(ノーマル)のほかにも、再生する音楽のジャンルに合わせて切り替えることができます。

1 [sound]にタッチして、メニューから音質を選択する

好みの音質に調整する(カスタマイズ)

好みの音質を「CUSTOM」に登録できます。設定した音質は「CUSTOM」に登録され、「CUSTOM」を選んで設定した音質で再生されます。

1 音楽を聴きながら調整する場合は、音楽を再生する

2 [sound]にタッチし、メニューからカスタマイズ設定を選択する

3 高音・低音の設定を行う

① つまみにタッチしたままスライドし、低音・高音を好みに合わせて調整する

② [設定]にタッチする

③ 再生音のカスタマイズ例(高音)

低音を強調した状態で音質を大きくすると、再生する曲によっては音質が悪くなる場合があります。

引き出し線で指している箇所ので操作できることを示します。

異なる方法で再生

ユーザー一覧画面とムービープレーヤー再生画面へ戻ります。

① (PAUSE) 再生を一時停止します。また、再開します。

② (STOP) 再生を停止します。

③ (NEXT) 次の曲のムービーを選択します。

④ (FWD) 次のムービーを選択します。

⑤ (SHUFFLE) シュuffle(乱発) 再生時の音をランダムで切り替えます。

⑥ 音質を戻す

⑦ 音質を消す

⑧ (PLAY) 再生時の音質を1段階下げます。

⑨ 音質を上げる

⑩ 再生時の音質を1段階上げます。

⑪ 切り替えます。

⑫ タイトル名/再生時間 選択できない動画データやタイトル名と再生時間が表示されます。

⑬ (PLAY) 選択した動画データを再生します。また、一時停止した動画データを途中から再生します。

2 大きな操作ステップ 基本的な操作手順を説明しています。

3 小さな操作ステップ 操作手順が多いときに、大きな操作手順の中を分けて説明しています。







3 手順や画面の補足的な内容を説明しています。

ペンタッチ ——— タッチペンで操作できることを示します。(次ページ)

3 画面のくわしい説明や、操作するときを知っていると役に立つ情報などを説明します。

本書の表記

ボタンやキーの表記


- 画面上的ボタンなど ・ 作業を実行する **隠す** などのボタンは、**隠す** と表記します。
- ・ ホームインデックス1画面などに表示されるアイコンは、たとえば、では、**MOVIEプレイヤー** アイコンと表記します。
- パネルのキー ・ パネルのキーは、**決定** キーなどと表記します。また、スクロールキーは、と表記します。またスクロールキーは1つのキーで上下左右に押せます。「左右のを押すと」などの表記は、スクロールキーの中の左側/右側を押すことを表しています。
- ・  などキーの下に表示されている「電源」などの機能は、**戻る**(電源)キーと表記します。
- スライド式キーボードのキー ... ・  などのキーは、**N** キーと表記します。
- ・  などのキーの上に表示されている「新規作成」(緑色の文字)などの機能は、**N**(新規作成)キーと表記します。

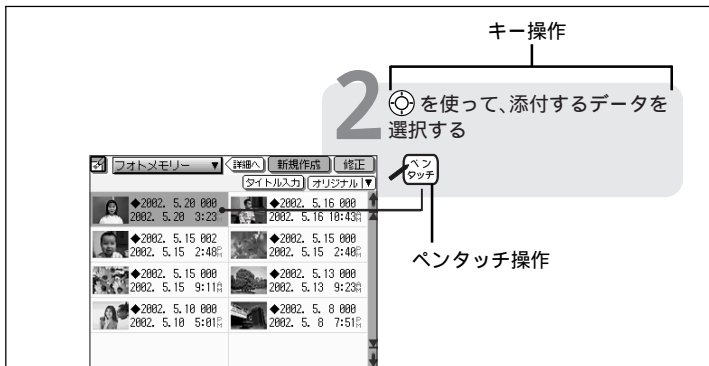
操作手順の表記

この製品を操作するには、次の2つの方法があります。

- ・ キーを押して操作する
- ・ タッチペンで画面にタッチして操作する

本書では、キーを使った操作を中心に説明し、キーを使えない操作では画面タッチ操作で説明しています。

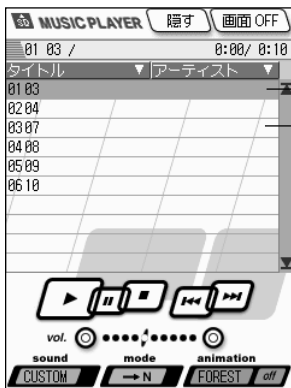
また、基本的な使いかたを手順を追って説明している箇所では、操作手順をキー操作で説明し、タッチ操作は、マークで補足的に説明しています。



タッチ操作の表記

1回または2回タッチする データなどに1回または2回タッチすることです。

- 選択してオレンジ色などに表示されているデータなど 1回タッチする
- 選択していないデータなど 2回タッチする



選択しているオレンジ色などの表示の部分に1回タッチすると、選ばれる

選択していない部分に2回タッチすると、選ばれる

マーク



... 補足的なことを説明しています。



... 大切なことを説明しています。



... 注意していただきたいことを説明しています。

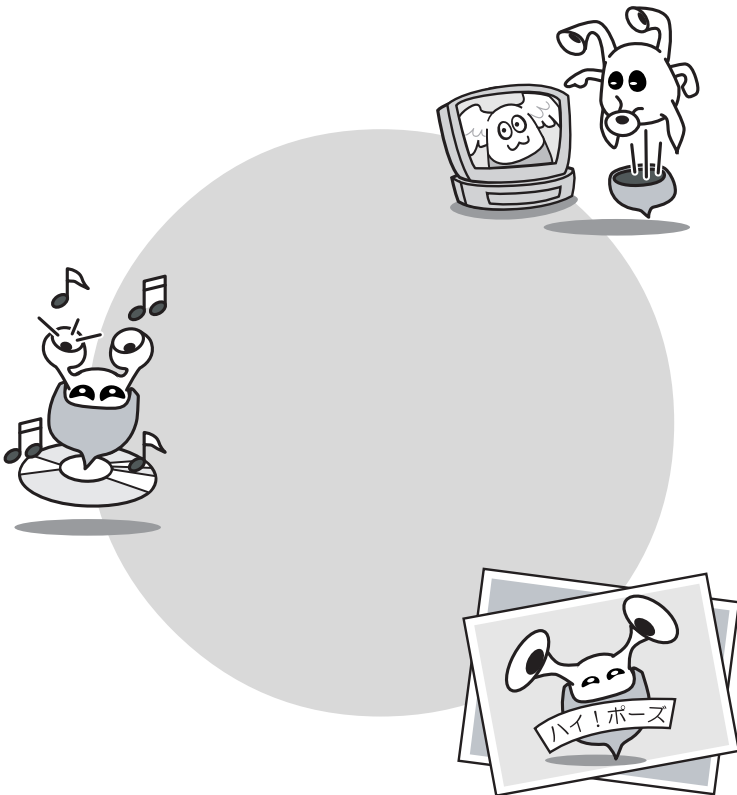


... 画面にタッチする操作を説明しています。

表示画面

- 本書に記載されている画面は、実際の製品で表示される画面とは異なる場合があります。
- 実際の画面では、数字のゼロと英字のオーを区別するために、ゼロは「0」と表示されます。

[AVガイド]で今日から使いましょう 表紙の裏
 こんなことができます 2
 本書の見かた 4
 本書の表記 5
 お使いになる前に 12



ムービープレーヤー

これがムービープレーヤー	14
さっそくムービーを見てみよう!	15
体験 動画(MPEG-4)を再生してみましょう	16
体験するために必要なもの	16
サンプルムービーをカードに転送しましょう	16
サンプルムービーを再生しましょう	18
準備 必要なものを用意する	20
録画するために必要なもの	20
再生するために必要なもの	21
録る1 録画するには	22
すぐに録画する	22
録画予約する	22
録る2 この製品の録画予約機能で予約1	23
録る3 録画予約する	26
見る ムービーを再生する	27
コラム ムービープレーヤーのメモリー切り替えについて	30
ムービープレーヤーの表示を切り替える	31
再生画面を切り替える	31
一覧画面の表示項目や項目の表示幅を変える	32
コラム 一覧画面でのプレビュー表示について	33
見る いろいろな方法で再生	34
コラム リモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)での操作	36
動画情報の編集	37
動画データの削除	37
情報を見る	38
タイトルの編集	39
再生モード設定	40
早送り巻戻し設定	41
この製品の録画予約機能で予約2	43
毎日決まった時間に録画する	43
デイリー予約	43
毎週決まった時間に録画する	46
ウィークリー予約	46
コラム 録画予約について	48
予約情報の確認・修正	49
予約の削除	50
ほかの方法で録画する	51
パソコンのPCカードスロットを使ってカードに転送する	51
パソコン連携キット(CE-PCK1)を使ってカードに転送する	53
Sharp Space Townの「ムービーコーナー」を利用して動画データをダウンロードする	53

ミュージックプレーヤー

これがミュージックプレーヤー	54
さっそく音楽を聴いてみよう!	55
準備1 必要なものを用意する	56
音楽を録音するのに必要なもの	56
音楽を再生するのに必要なもの	58
準備2 パソコンにソフトをインストールする	60
RealJukebox 2 Basicをインストールする	60
ザウルスプラグイン for RealJukeboxをインストールする	64
RealJukebox 2 Basicの設定を変更する	65
録る 音楽データをカードに録る	69
音楽著作権保護情報をカードに記録する	69
音楽データを作成する - 音楽CDから録音する	70
コラム 録音の音質(ビットレート)とファイルの大きさについて	72
音楽データをカードに転送する	73
コラム パソコンのPCカードスロットを使ってカードに転送する(その2)	78
聴く 音楽を再生する	79
コラム リモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)での操作	82
聴く いろいろな方法で再生する	83
聴く 好みの音質を選ぶ	84
ミュ - ジックプレーヤーの表示を切り替える	85
ミュージックプレーヤーの画面を隠す	85
表示する項目を切り替える	85
再生中にアニメーションを表示する	86
アニメーション表示の設定を変更する	87
好みのアニメーションに切り替える	88
画面デザインを切り替える	88
再生開始画面を設定する	89
曲やタイトルを編集する	90
曲順を入れ替える	90
曲を削除する	91
コラム RealJukeboxで音楽データを削除する	91
タイトルを編集する	92
いろいろな設定	93
曲送り/曲戻しから、早送り/巻戻しに変更する	93
音量の段階を調整する	94
その他の設定	95
曲リストを更新する	96

パソコンからこの製品に装着したカードに転送する 97
RealJukebox 2 BasicまたはRealJukebox 2 Plusをお持ちの場合 101
インターネットから音楽データを取り込む 103
パソコンで音楽を楽しむ 104



デジタルカメラ

これがデジタルカメラ	106
さっそくデジタルカメラを使おう!	107
準備 各部のなまえ	108
準備 デジタルカメラカードの取り付け / 取り外し	109
デジタルカメラカードを取り付ける	109
デジタルカメラカードを取り外す	110
撮る デジタルカメラで撮影する	111
撮影する状態を設定する	115
見る 撮影した画像を見る	117
活用 撮影した写真を活用する	118
顔写真付きのアドレス帳を作る	118
メールに画像を添付して送る	120
画像をオープニング画面に使う	121

付 録

光(赤外線)通信を利用する	122
光通信 (IrDA) について	122
Windows 98で光通信 (IrDA) を利用するとき	123
Windows 95で光通信 (IrDA) を利用するとき	125
マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの使いかた	128

困ったときは

ムービープレーヤー	132
この製品の録画予約機能でカードに予約情報を登録するとき	132
一覧表示および再生時	133
ミュージックプレーヤー	135
RealJukeboxを使ってCDの曲をMP3形式で録音するとき	135
ザウルスプラグイン for RealJukeboxを使ってMP3データをカードに転送するとき ...	136
再生時	139
デジタルカメラ	141
さくいん	142

お使いになる前に

1. カードについて

カード（音楽データの録音用・映像データの録画用に）

SDメモリーカード、マルチメディアカード（MMC）または当社推奨のCompact Flash™仕様のコンパクトフラッシュメモリーカードが使用できます（以下、「カード」と呼びます）。動作確認済みカードについては、「ザウルスサポートステーション」のホームページをご覧ください（2000年12月現在）。

<http://zaurus.spacetown.ne.jp/>

SDメモリーカードの著作権保護について

この製品はSDメモリーカードの著作権保護機能には対応しておりません。

パソコンでこれらのカードを使用するには、専用のPCカードアダプターが必要です。

カードの取り付け／取り外しについては、『取扱説明書（基本編）』の「カード」の章をご覧ください。



詳しく

ライトプロテクトスイッチのあるカードをご使用の場合は必ずライトプロテクトスイッチをオフにご使用ください。

この製品でカードを初めて使うときは、内部の状態が一定でないためカードのデータを消去しないと使用できないことがあります。このときには、表示されるメッセージに従ってメモリーカードを初期化（完全消去（フォーマット））してください。

SDメモリーカードは初期化（フォーマット）して出荷されておりますので、そのままお使いください。パソコンなどで再初期化すると、この製品で使用できなくなります。ご注意ください。

カードの取り外しについて

この製品に装着したカードを取り外すときは、必ず電源を切り画面が消えてから数秒お待ちになり取り外してください。

2. 著作権について

著作権について

音楽用CD等各種CD、TV映像、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

また、写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。Microsoft Internet Explorerは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における商標です。

Intel、Pentiumは、米国インテル社の登録商標です。

MMXは、米国インテル社の商標です。

Cyrixは、VIA Technologies,Inc.の登録商標です。

Mは、VIA Technologies,Inc.の商標です。

AMDは、Advanced Micro Devices,Inc.の登録商標です。

RealNetworksおよびRealPlayerは米国RealNetworks,Inc.の登録商標です。

RealJukeboxおよびRealDownloadは、米国RealNetworks,Inc.の商標です。

CompactFlash™は、米国サンディスク社の商標です。

Adobe、Acrobatは、米国アドビシステムズ社の商標です。

この製品には、米国RealNetworks,Inc.からの使用許諾に基づいて、

RealJukebox 2 BasicおよびRealPlayer 8 Basic, Real Download 4 Basic が同梱されています。

© 1995-2000 RealNetworks,Inc.All rights reserved.



ASFについて

Portions utilize Microsoft Windows Media Technologies.

Copyright© 1999-2000 Microsoft Corporation. All Rights Reserved.

その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

ムービープレイヤー

これがムービープレイヤー

いつでもどこでも
見たいときが
ビデオタイム



0908ΔCH
PM8:00録画



見たいドラマを
録画予約できる

好きなアーティストの
ミュージッククリップ
を楽しめる



ビデオカメラで録画した
映像を友人に見せられる



さっそくムービーを見てみよう！

体験

付属のソフトコレクション CD-ROM に収録のサンプルムービーをカードに転送して動画を見てみよう

16ページ

準備

MPEG-4 ビデオレコーダー(CE-VR1:別売品) カード、PCカードアダプター、リモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1:別売品) など必要なものを用意する

20ページ

録る

1 この製品の録画予約機能でカードに予約情報を登録する

23ページ

2 MPEG-4 ビデオレコーダーにカードを装着する
▼
予約時間になったら番組の録画スタート

26ページ

(別売のMPEG-4 ビデオレコーダーを使って予約することもできます)

見る

カードをこの製品に装着するムービープレイヤーを実行して、再生する

27ページ

注意

SDメモリーカードは初期化(フォーマット)して出荷されておりますので、そのままお使いください。パソコンなどで再初期化すると、この製品で使用できなくなります。ご注意ください。

体験

動画 (MPEG-4) を再生してみましょう

付属のCD-ROMに収録のサンプルムービーをパソコンを使ってカードに転送し、動画を見てみましょう。

体験するために必要なもの

MI-E1(「ムービープレーヤー」を使用して再生)

パソコン(PCカードスロット/CD-ROMドライブに対応)

カード(コンパクトフラッシュメモリーカード、SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)のいずれかを使用)

PCカードアダプター(使用するカードに合わせて専用のPCカードアダプターを用意)

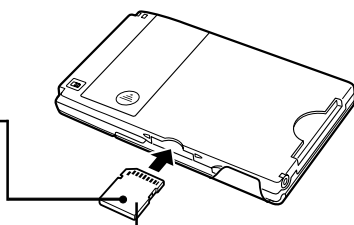
付属のCD-ROM(ソフトコレクションCD-ROMに収録のサンプルムービーを使用)

別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)、または市販のステレオヘッドホン(プラグ直径: 3.5mm(3.5))

サンプルムービーをカードに転送しましょう

手順1、2は使用するカードを1度もザウルスに装着していない場合にのみ行ってください。ザウルスで使用したことがあるカードの場合は、手順3から行ってください。

- 電源を切った状態でこの製品にカードを装着し、**戻る**(電源)キーを押して電源を入れる
カードに「_ZAURUS」フォルダが自動的に作成される

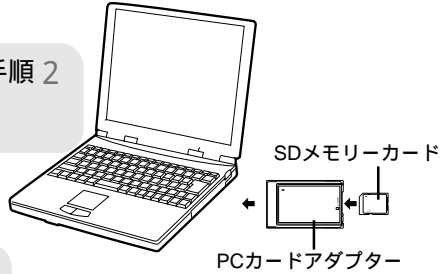


SDメモリーカードの裏面

- ・「カードの取り付け/取り外し」については『取扱説明書(基本編)』の「カード」の章をご覧ください。
- ・カードを初めて使うときは、内部の状態が一定ではないためカードのデータを消去しないと使用できない場合があります。その場合は、表示されるメッセージに従ってカードを初期化(完全消去(フォーマット))してください。

- ホームインデックス1画面などが表示されたら、**戻る**(電源)キーをしばらく押してこの製品の電源を切り、カードを取り出す

3 パソコンの電源を入れ、手順2のカードを装着する



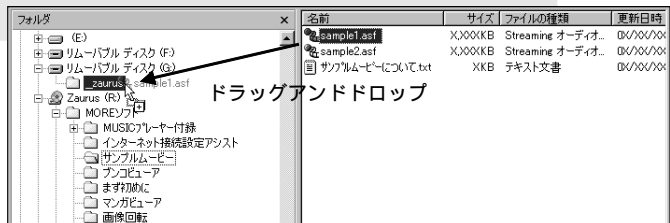
PCカードスロットに装着するときは、PCカードアダプターをお使いください。

4 付属のソフトコレクションCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる
[ソフトコレクションCD-ROMセットアップ]画面が表示される

5 中止をクリックする



6 パソコンのエクスプローラ([スタート]-[プログラム]-[エクスプローラ])をクリック)を使って、CD-ROMに収録された「サンプルムービー」をカードの「_Z_AURUS」フォルダにドラッグアンドドロップする



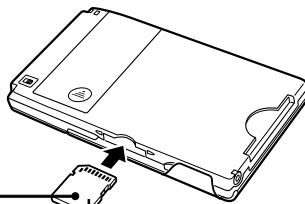
サンプルムービーのファイルは、「MOREソフト」フォルダ内の「サンプルムービー」フォルダの中の「sample1.asf」(ASF形式のファイル)です。
パソコンにインストールされているソフトウェアにより表示されているアイコンは異なります。

7 カードをパソコンから抜き出す

急にカードを抜き出すと、カードに記録されたデータが破損したり、カードの故障の原因となります。カードを抜き出すために必要な操作を行ってください。カードを取り出す方法はお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

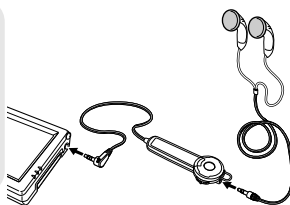
サンプルムービーを再生しましょう

- 1** サンプルムービーの入ったカードをこの製品に装着する




SDメモリーカードの裏面

- 2** この製品にリモコン付ステレオヘッドホンまたは市販のステレオヘッドホン(プラグ直径: 3.5mm)を接続し、**戻る**(電源)キーを押して電源を入れる



- 3** **ホームインデックス** キーを数回押し、ホームインデックス1画面を表示する



- 4**  を使って **MOVIEプレイヤー** アイコンを選択し**決定**キーを押す



5 リモコン付ステレオヘッドホンまたは市販のステレオヘッドホンを耳に装着し、**決定**キーを押して、サンプルムービーを再生する

SDメモリーカードが選択されていることを示す



ムービープレイヤー一覧画面

再生については、「ムービーを再生する」(⇒27ページ)をご覧ください。



進行バー
再生中の進行状態を示します。つまみにタッチしたままスライドし、再生したい箇所に調整することができます。
[] クローズボタンにタッチすると、進行バーを閉じます。再び表示するときには**機能**キーを押して、**逆送り**キーを押します。以下「進行バー」は閉じた状態で説明します。



再生ボタン

停止ボタン

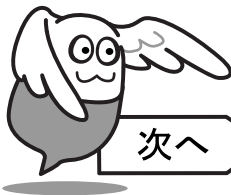
タッチしてミュート(消音)のON/OFFを切り替える

●-にタッチすると、音が小さくなる

●+にタッチすると、音が大きくなる

ミュートOFF

ミュートON



次へ

お気に入りの番組などを別売のMPEG-4ビデオレコーダーなどを使ってカードに収録して再生したい方は、次のページへお進みください。

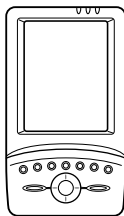
準備

必要なものを用意する

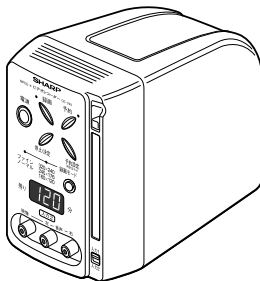
ムービープレーヤーでMPEG-4の動画を楽しむために必要なものを用意しましょう。

録画するために必要なもの

MI-E1



録画予約(MPEG-4 ビデオレコーダー)機能を使って予約情報を登録します。

MPEG-4 ビデオレコーダー
(CE-VR1) 別売品

テレビやビデオ、ビデオカメラの映像をカードに録画します。

カード(MPEG-4 データ録画用)¹

次のSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)またはコンパクトフラッシュメモリーカードのいずれかを使用します。

SDメモリーカード
マルチメディアカード(MMC)
コンパクトフラッシュメモリーカード



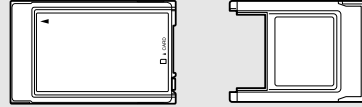
1

動作確認済みカードについては「ザウルスサポートステーション」のホームページをご覧ください(2000年12月現在)
<http://zaurus.spacetown.ne.jp/>

PCカードアダプター

MPEG-4 ビデオレコーダーにカードを装着するときに使用します。
使用するカードに合わせて、次のいずれかのPCカードアダプターが必要です。

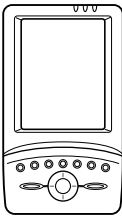
SDメモリーカード用PCカード
アダプター
マルチメディアカード(MMC)
用PCカードアダプター
コンパクトフラッシュメモリー
カード用PCカードアダプター



PCカードスロットに対応しているパソコンなどを利用して動画データ(MPEG-4ファイル)をカードに転送するときにもPCカードアダプターを使用します。

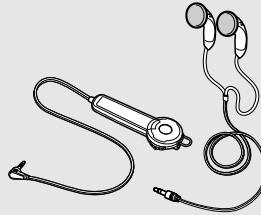
再生するために必要なもの

MI-E1



ムービープレイヤーを使って再生します。

リモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)別売



この製品に取り付けて音声を聞きます。
リモコンで再生や一時停止の操作ができます。
ムービープレイヤーの音声はモノラルで再生されます。

↓ または ↑

市販のステレオヘッドホン(プラグ直径:
3.5mm(3.5))



MPEG-4 ビデオレコーダー以外で録画する場合

パソコンなどを利用してカードに動画データ(ASF形式のファイル)を転送することができます。くわしくは、51ページをご覧ください。

録る 1

録画するには

MPEG-4 ビデオレコーダー(CE-VR1)にカードを装着して録画します。

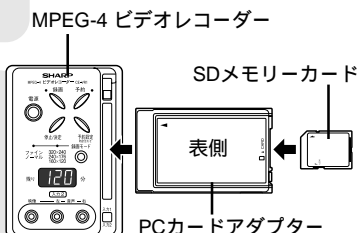
録画方法には、すぐに録画する方法と録画予約する方法があります。

すぐに録画する

放送中の番組や再生中の映像をその場で録画します。

1 MPEG-4 ビデオレコーダーをビデオとテレビに接続する

2 MPEG-4 ビデオレコーダーのカードスロットに、PCカードアダプターを装着したカードの表側を左側にして、端子側から真っすぐに装着する



3 ビデオの電源を入れ、録画したい番組にチャンネルを合わせ、MPEG-4 ビデオレコーダーの(録画)ボタンを押す

MPEG-4 ビデオレコーダーの接続方法や操作については、MPEG-4 ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

録画予約する

録画時間を指定して予約します。日時を指定して録画する日時予約、毎日同じ時間に録画するデイリー予約や毎週同じ曜日、同じ時間に録画するウィークリー予約があります。

録画予約は、次の2つの方法で予約できます。

この製品の録画予約機能で予約する方法

「録画予約 (MPEG-4 ビデオレコーダー)機能 (MOREソフト)を使ってカードに予約情報を登録します。(ここでは、この方法について説明します)

別売のMPEG-4 ビデオレコーダー(CE-VR1)で予約する方法

MPEG-4 ビデオレコーダーを使って予約します。(くわしくは、MPEG-4 ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください)

録る 2

この製品の録画予約機能で予約1

録画予約機能を使って、日時予約情報をカードに登録しましょう。

1 電源を切った状態で、この製品にカードを装着する
予約情報はカードに登録される

2 **戻る** (電源)キーを押して、電源を入れる

3 **ホームインデックス** キーを数回押し、ホームインデックス1画面を表示する



4 **録画予約** アイコンを選択し、**決定** キーを押す

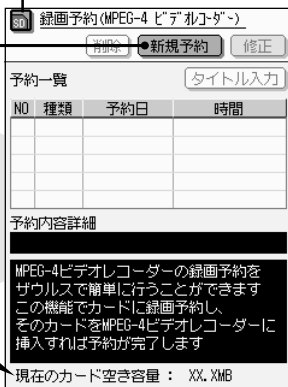


ホームインデックス1画面

5 複数のカードを装着している場合には、**機能**(カード)キーをしばらく押して、予約情報を登録するカードに切り替える

SDメモリーカードが選択されていることを示す

6 **機能** キーを押した後、**N** (新規作成)キーを押す



現在のカードの空き容量を表示しています。

7 日時予約する

1 日時にタッチする

2 日付を入力する

3 時刻を入力する

4 録画モードの「サイズ」と「画質」を選択する

5 登録にタッチする

数字のボタンにタッチし、日付や時刻を入力します。

予約設定(日時予約)画面



320×240ドットのファインの画像データをこの製品で再生すると、コマ飛び、音飛びします。録画モードを変更して予約設定してください。

別売のMPEG-4ビデオレコーダーで録画する場合、画質をファインにした方が、ノーマルと比べて1コマの画面がきれいに見えます。ただし、同じ容量のメモリーカードに録画した場合、ノーマルと比べて録画時間が短くなります。長く録画したいときは、画質はノーマルにすることをおすすめします。画質と録画時間については、MPEG-4ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

予約設定の時刻は、6時間以内で設定します。6時間を超える設定はできません。

予約設定の日付や時刻に、現在日時より過去の日時を設定することはできません。

予約設定の日時がすでに設定してある予約設定と重複すると設定することができません。日付や時刻を修正して設定してください。

連続した2つの番組を予約設定するには、前の予約設定の録画終了時刻の1分後から次の予約開始時刻を設定してください。

8 予約内容を確認する



9
タイトル入力に
タッチする

録画予約(MPEG-4 ビデオレコーダー)

削除 新規予約 修正

予約一覧

NO	種類	予約日	時間
1	日時	5月30日(木)	11:00~11:10

予約内容詳細

予約NO. 1

タイトル :
 予約日 : 5月30日(木)
 時間 : 11:00~11:10
 録画モード : 240x176 ノーマル
 録画に必要な空き容量 : 約 XX.XMB

現在のカード空き容量 : XX.XMB

録画予約した内容が予約一覧に表示されます。No.は自動的に1から空番号に割り当てられます。

画面のこの部分を確認して、予約情報が登録されているカードに収録可能かどうか確認ください。
 なお、「録画に必要な空き容量」に表示されている空き容量は目安です。

10
タイトルを入力して実行
にタッチする

タイトル入力

タイトル

XXXXXXXX

実行 中止



ここで入力したタイトルは録画後、動画データ(MPEG-4ファイル)のタイトルとなります。
 絵記号などタイトルとして入力できない文字があります。

11
戻る(電源)キーを
しばらく押して電
源を切る12
この製品からカード
を抜き取る

日時予約の予約情報は、録画終了後、自動的に削除されます。
 その他の予約方法については「この製品の録画予約機能で予約2(43ページ)をご覧ください。
 カードの空き容量が不足している場合は、カードからデータを削除し、メモリー整理を実行してください(取扱説明書(基本編)255ページ)。

録る 3

録画予約する

予約情報を登録したカードをMPEG-4 ビデオレコーダーにセットして録画予約します。

はじめに・・・

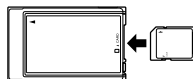
MPEG-4 ビデオレコーダーは、接続しているビデオからのビデオ信号(NTSC方式)を受けて録画を開始します。したがって、MPEG-4 ビデオレコーダーで予約録画するためには、ビデオにもMPEG-4 ビデオレコーダーと同様、もしくはそれを含んだ予約が必要です。

MPEG-4 ビデオレコーダーで録画予約するには、接続しているビデオにビデオテープをセットし予約待機状態しておく必要があります。

MPEG-4 ビデオレコーダーの操作については、MPEG-4 ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

1

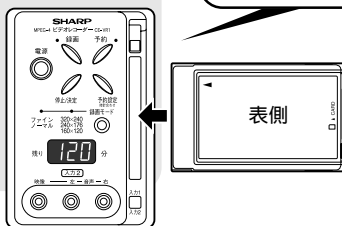
予約情報が入ったカードをPCカードアダプターに取り付ける



2

電源を切ったMPEG-4 ビデオレコーダーに手順 1 のカードを装着し、入力切替スイッチを「入力1」に切り替える
予約情報が登録されたカードを装着すると、自動的に電源が入り予約ランプが点灯し録画予約状態になる

MPEG-4 ビデオレコーダーへのカードの取り付け / 取り外しについては、MPEG-4 ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。



3

録画が終了したら、MPEG-4 ビデオレコーダーの電源を切り、カードを取り外す

4

カードからPCカードアダプターを外す

見る

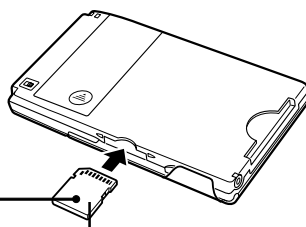
ムービーを再生する

動画データの入ったカードをこの製品に装着して再生します。



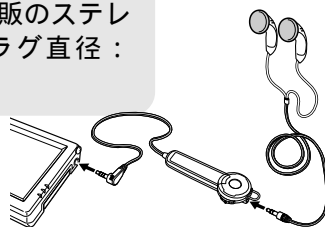
ムービープレイヤーで再生できる動画データは、ASF形式(動画：MPEG-4準拠、音声：G726準拠)のファイルです。

- 1 電源を切った状態で、動画データの入ったカードをこの製品に装着する



SDメモリーカードの裏面

- 2 この製品にリモコン付ステレオヘッドホンまたは市販のステレオヘッドホン(プラグ直径：3.5mm)を接続する



- 3 戻る(電源)キーを押して、電源を入れる

- 4 ホームインデックスキーを押し、ホームインデックス1画面を表示する

- 5 方向キーを使ってMOVIEプレイヤーアイコンを選択し、決定キーを押す



ホームインデックス1画面

6

リモコン付ステレオヘッドホンまたは市販のステレオヘッドホンを耳に装着し、再生するタイトルを選ぶ

1 **機能** (カード)キーをしばらく押して、再生するメモリーに切り替える

SD にタッチし、再生するメモリーにタッチ

ムービープレイヤーのメモリー切り替えについては、30ページをご覧ください。

2 再生する番組を選択する

3 (PLAY) にタッチして再生する
ムービープレイヤー再生画面については31ページをご覧ください。



表示項目は表示されている項目をタッチすると、以下の項目に切り替えることができます。

- ・タイトル
- ・日付
- ・再生時間
- ・画像サイズ
- ・ファイル名
- ・ファイル容量

進行バー
進行バーについては、19ページをご覧ください。
以下「進行バー」は閉じた状態で説明します。

ムービープレイヤー一覧表示画面

- ・途中で再生を止めるには (STOP) にタッチします。
- ・一時停止するには (PAUSE) にタッチします。
- 再開するには (PLAY) または (PAUSE) にタッチします。



ムービープレイヤーはテレビのような滑らかな再生はできません。動画と音声が多量ずれる場合があります。

ムービープレイヤーの動画再生は約2～10コマ/秒です。また、映像内容やご使用のメモリーカードによって動画の動きが遅くなることがあります。

ムービープレイヤーの再生中に操作すると、その操作が実行されるまで少し時間がかかります。再生中はゆっくり操作してください。操作中は動画が止まります。

別売のMPEG-4 ビデオレコーダーで録画した番組などは、カードの「DCMV」フォルダに登録されています。

パソコンなどのMPEG-4 ファイル(ASF形式のファイル)をムービープレイヤーで再生するには、パソコンを使ってカードの「DCMV」フォルダまたは「__ZAURUS」フォルダに登録してください。

7

画面にタッチして音量を調整する



戻るキーを押すか (STOP) にタッチすると再生を停止し、ムービープレーヤー画面に戻ります。

ムービープレーヤー再生画面

ミュート(消音)のON/OFF

ミュートON(消音)

ミュートOFF

音量は10段階に調整できます。

音量が小さくなります。

音量が大きくなります。



自動マーク機能について

- 動画データを再生中にメール自動受信や別の機能を使用すると(ジャンプすると)自動マーク機能が働いて再生が一時停止し、別の機能の画面に切り替わります。

この後に再生を再開するには、次の操作を行います。

- 1 ホームインデックスキーを数回押しホームインデックス1画面を表示する
- 2 戻るキーを使って MOVIEプレーヤー アイコンを選択し(決定)キーを押す
再生画面は何も表示されていない状態となっています。
- 3 再生を再開するには (PAUSE) または (PLAY) にタッチする

- インデックス設定で「電源を切る前の画面」に設定している場合、動画データの再生中にこの製品の電源を切り、再度電源を入れると再生画面には何も表示されていない状態になります。再生を再開するには、(PAUSE) または (PLAY) にタッチします。

別売のリモコン付ステレオヘッドホンについて

- 別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)を装着した場合は、リモコン操作することができます。この操作については36ページをご覧ください。
- ムービープレーヤーで別売のリモコン付ステレオヘッドホンのリモコンを操作するときは、ミュージックプレーヤーで音楽を停止してからムービープレーヤー画面に切り替えてください。ミュージックプレーヤーで音楽を再生中(または一時停止中)にムービープレーヤー画面に切り替えると、リモコンはミュージックプレーヤーに対して働き、ムービープレーヤーには働きません(たとえば、音量を上げるとミュージックプレーヤー側の音量が上がっていて、次に音楽を再生したときに大きな音で再生されますので、ご注意ください)。





ムービープレイヤーのメモリー切り替えについて

(機能)(カード)キーをしばらく押すと、メモリーを切り替えることができます。

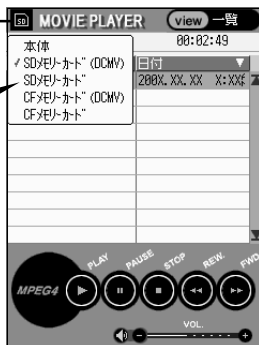
再度、メモリー切り替えを行うには、この操作を繰り返してください。

ムービープレイヤーでの **(機能)**(カード)キーを使ったメモリー切り替えは、動画データが収録されている本体メモリーやカードに切り替わります。

カード内は「DCMV」フォルダ、「_ZAURUS」フォルダの2つのフォルダに動画データを収録することができます。**(機能)**(カード)キーをしばらく押して動画データの入っている「DCMV」フォルダ、「_ZAURUS」フォルダに切り替えることができます。

画面左上の **[SD]** などにタッチし、メモリーを切り替えることもできます。

この製品に装着していないカードの表示は、薄文字となり、切り替えることはできません。



ムービープレイヤーのメモリー切り替えは、アドレス帳、スケジュール機能などのメモリー切り替えとは異なります。



コンセントの電源電圧が低い場合、フロントライトの明るさを「最大」にして動画データを再生すると、ACアダプターを装着していても充電電池が消耗することがあります。このような場合は、フロントライトの明るさを下げてご使用ください。

ムービープレイヤーの表示を切り替える

再生画面や、一覧表示画面の表示を変更することができます。



再生画面を切り替える

ムービープレイヤーの再生中の画面は、自動、標準、拡大、縮小、フルスクリーン の5種類の表示(モード)に切り替えることができます。工場出荷時は自動モードに設定されています。

1

① (PLAY) にタッチし再生中の画面を表示し、画面右上の **view 自動** にタッチし、表示(モード)にタッチして、切り替える



自動モード / 標準モード



縦表示で元の画面サイズのまま再生します。

標準モードでは 320×240 ドットの画像はまわりが欠けて表示されます。
自動モードでは 320×240 ドットの画像はフルスクリーンで表示されます。

拡大モード



縦表示、縦持ちで縦横2倍画像で再生します。

主に小さな画像を拡大して再生するためのモードです。
 160×120 ドット、 240×176 ドットの画像はまわりが欠けて表示されます。

縮小モード



縦表示、縦持ち縦横1/2倍の画像で再生します。

320×240 ドットの画像サイズのデータを縦で見られるモードです。

フルスクリーンモード



横表示、 320×240 ドットの画面いっぱいに再生します。

画像サイズに応じて画面いっぱいに再生サイズを合わせて再生するモードです。
元の表示モードに戻すには、**(中断)** キーを押します。



切り替えた表示(モード)は、再生が停止するまで有効です。
再生モード設定画面については、40ページをご覧ください。次の再生時は、再生モード設定画面で設定されているモードの表示となります。

フルスクリーン再生中の操作

- ・再生中に(中断)キーを押すと、再生モード設定画面で設定されているモードに戻ります。
- ・再生中に(決定)キーを押すと、一時停止します。一時停止中に(決定)キーを押すと、再生を再開します。
- ・再生中に(戻る)キーを押すと再生を停止し、ムービープレイヤー一覧表示画面に戻ります。
- ・再生中に上下の(スクロールキー)を押すと、音量を調整することができます。

一覧画面の表示項目や項目の表示幅を変える

表示する項目を変える

1 ムービープレイヤー一覧表示画面で項目名にタッチする

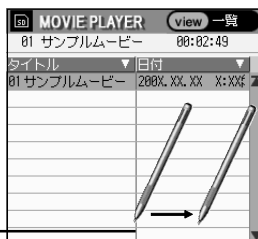
2 項目一覧から表示したい項目にタッチする



項目の表示幅を変える

1 ムービープレイヤー一覧表示画面で区切り線にタッチしたまま右または、左にずらす

区切り線





区切り線の表示は

区切り線を一番右にずらすと、1項目の表示となります。
項目は、2つまで表示します。



一覧画面でのプレビュー表示について

一覧画面で **view 一覧** にタッチし **プレビュー** にタッチすると、一覧画面にプレビューを表示させることができます。

プレビュー表示では、一覧表示に比べて、表示に時間がかかります。



一覧画面(一覧)



一覧画面(プレビュー)

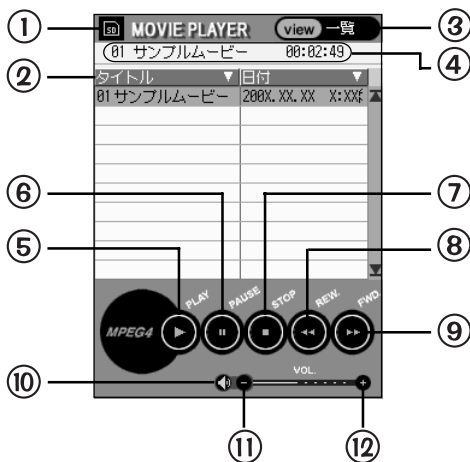
見る











いろいろな方法で再生

ムービープレイヤー一覧画面とムービープレイヤー再生画面について説明します。

画面の説明

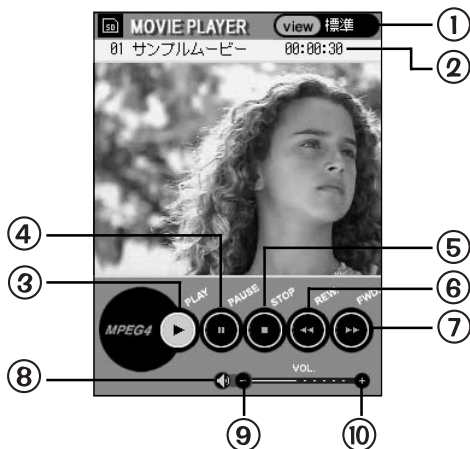
ムービープレイヤー一覧画面



- ① メモリー切り替えアイコン
再生する動画データの入っているメモリーを切り替えます。
- ② 項目名
動画データの項目名が表示されます。タッチし別な項目名にタッチして、表示する項目を変えることもできます。
- ③ リスト表示形式切り替えボタン
ムービープレイヤー一覧画面の表示を、一覧表示またはプレビュー表示に切り替えます。
- ④ タイトル名/再生時間
選択されている動画データのタイトル名と再生時間が表示されます。
- ⑤  (PLAY)
選択した動画データを再生します。また、一時停止した動画データを途中から再生します。
- ⑥  (PAUSE)
再生を一時停止します。また、再開します。
- ⑦  (STOP)
再生を停止します。
- ⑧  (REW.)
ひとつ前のムービーを選択します。
- ⑨  (FWD.)
次のムービーを選択します。
- ⑩  (ミュート(消音))
再生時の音を鳴らす/消すを切り替えます。
 ...音を鳴らす
 ...音を消す
- ⑪  (音量下げる)
再生時の音量を1段階下げます。
- ⑫  (音量上げる)
再生時の音量を1段階上げます。



ムービープレイヤー—覧画面

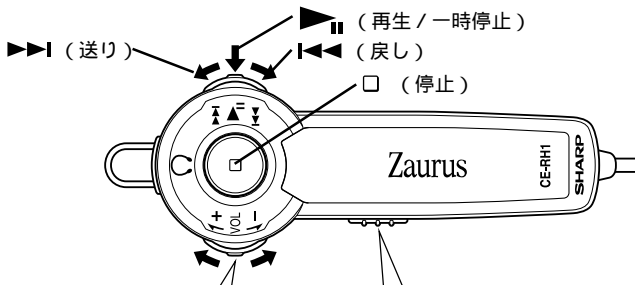


- ① 再生モード切り替えボタン
再生中の画面の表示(モード)を切り替えます。
標準.....縦表示で元の画面サイズのまま再生します。
拡大.....縦表示、縦持ちで縦横2倍画像で再生します。主に小さい画像を再生するためのモードです。
縮小.....縦表示、縦持ち縦横1/2倍の画像で再生します。320×240ドットの画像サイズの動画データを縦で見られるモードです。
フルスクリーン
 横表示、320×240ドットの画面いっぱいに再生します。画像サイズに応じて画面いっぱいに再生サイズを合わせて再生するモードです。
- ② タイトル名/再生時間
再生中の動画データのタイトル名と、これまでに再生した時間が表示されます。
- ③ **▶ (PLAY)**
一時停止した動画データを途中から再生します。
- ④ **⏸ (PAUSE)**
再生を一時停止します。また、再開します。
- ⑤ **⏹ (STOP)**
再生を停止し、ムービープレイヤー—覧画面に戻ります。
- ⑥ **⏮ (REW.)**
巻き戻します。
- ⑦ **⏭ (FWD.)**
早送りします。
- ⑧ **🔇 (ミュート(消音))**
再生時の音を鳴らす/消すを切り替えます。
 🔇...音を鳴らす
 🗑...音を消す
- ⑨ **🔊 (音量下げる)**
再生時の音量を1段階下げます。
- ⑩ **🔊 (音量上げる)**
再生時の音量を1段階上げます。
- 「早送り巻き戻し設定」(≡41ページ)で**⏮ (REW.)** **⏭ (FWD.)**の動作を変えることができます。



リモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)での操作

リモコン付ステレオヘッドホンのリモコンを使って一覧画面や再生中の画面で操作ができます。



VOL+ (音量大) / VOL- (音量小)
(ミュート)

- 側にシャトルを回すと、音が一段階小さくなります。しばらく回したままにすると、ミュート(消音状態)になります。

+ 側にシャトルを回すと、音が一段階大きくなります。ミュート設定時に回すと、ミュートが解除されます。

HOLD (誤動作防止) スイッチ
HOLD スイッチをオンにすると、リモコンの操作が無効になります。誤ってボタンが押されて再生が始まったり、知らない間に再生して電池が消耗したりすることなどを防げます。

リモコンの操作	一覧画面	再生画面
▶▶ (再生)	選択したムービーを再生	再生中 : 一時停止
▶▶ (一時停止)		一時停止中 : 再生開始
◀◀ (戻し)	一つ前のムービーを選択 (データ戻し)	・巻戻し(数秒間戻る) ・データ戻し(1 戻り 2)
▶▶ (送り)	次のムービーを選択 (データ送り)	・早送り(数秒間送る) ・データ送り(1)
□ (停止)	-	再生停止

1「早送り巻戻し設定」(41ページ)でリモコンの◀◀(戻し)、▶▶(送り)の動作を変えることができます。

2再生中にデータ戻しを行うと、1回だけの操作では再生中のデータの先頭に戻ります。2回連続して操作すると、前のデータに移ります。

□(停止)をしばらく押し続けると、電源が切れます。

ムービープレイヤーの再生中に操作すると、その操作が実行されるまで少し時間がかかります。再生中はゆっくり操作してください。操作中は動画が止まります。

動画情報の編集

カードに記録した動画情報を編集します。



動画データの削除

動画データの削除は、1データ削除、または全データ削除ができます。

- 1 を使ってムービープレイヤー一覧画面で削除するデータを選択する

全データ削除の場合は、選択する必要はありません。

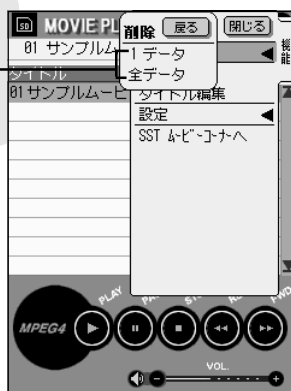
- 2 **操作メニュー** キーを押し、**削除** を選択し、**決定** キーを押す



ムービープレイヤー一覧画面

- 3 **1データ** または **全データ** を選択し、**決定** キーを押す

ペンタッチ




- 4 確認のメッセージで **はい** を選択し、**決定** キーを押す



複数のデータを削除するときは、1データの削除を繰り返します。

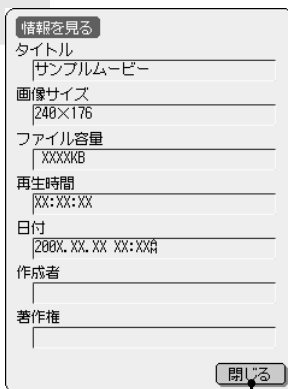
情報を見る

動画データのタイトル、画像サイズ、ファイル容量、再生時間、日付、作成者、著作権の情報を表示します。

1 ムービープレイヤー一覧画面で、を使って情報を見るデータを選択する

2 **操作メニュー** キーを押し、**情報を見る** を選択し **決定** キーを押す

3 情報を確認する




情報を見る画面

4 終了するときは **戻る** キーを押す



タイトルの編集

タイトルを入力したり、修正したりします。

- 1 ムービープレイヤー一覧画面で  を使ってタイトルを編集するデータを選択する

- 2 **操作メニュー** キーを押し、**タイトル編集** を選択し、**決定** キーを押す



- 3 タイトルを入力する

タイトルは全角文字で最大 16 文字まで、半角文字で最大 32 文字まで入力できます。絵記号などタイトルとして入力できない文字などがあります。



- 4 タイトルを入力後、**決定** キーを押す



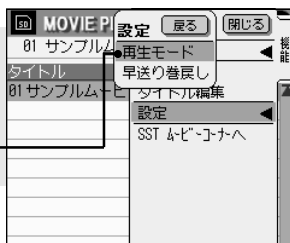
付属のソフトコレクションCD-ROMに収録のサンプルムービーは、読み取り専用ファイルのためタイトル編集することができません。

再生モード設定

再生モード設定では、再生時にどのモードで再生するかを指定したり、再生を停止した後の再生開始位置を設定します。

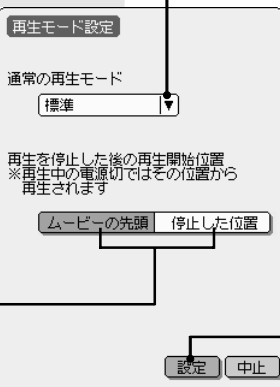
1 **操作メニュー** キーを押し、**設定** を選択し、**決定** キーを押し

2 **再生モード** を選択し、**決定** キーを押し



3 「通常の再生モード」の にタッチし、モードを選択する

通常の再生モードでは、自動、標準、拡大、縮小の4種類の中から選択します。フルスクリーンへのモード切り替えは、再生時に **view 標準** などにタッチし、**フルスクリーン** を選択してください。



4 再生開始位置を選択する

ムービーの先頭
常にムービーの先頭から再生を開始します。

停止した位置
常に続きから再生します。

再生モード設定画面

5 **設定** にタッチする



早送り巻戻し設定

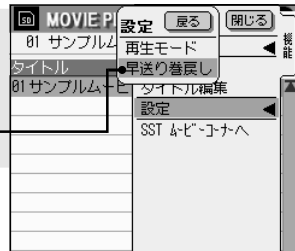
早送り巻戻し設定では、再生中の画面上送り/戻しボタン、左右のスクロールキーの動作を早送り/巻戻しからデータ送り/戻しに変更することができます。また、リモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)をご使用の場合は、リモコンの送り/戻しボタンの動作を早送り/巻戻しからデータ送り/戻しに変更することができます。

1

操作メニューキーを押し、設定を選択し決定キーを押す

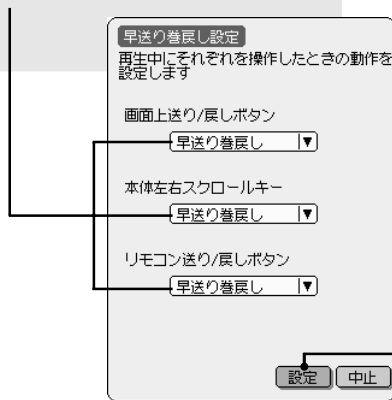
2

早送り巻戻しを選択し決定キーを押す



3

それぞれのボタン、キーの にタッチして早送り巻戻しまたはデータ送り/戻しを選択する



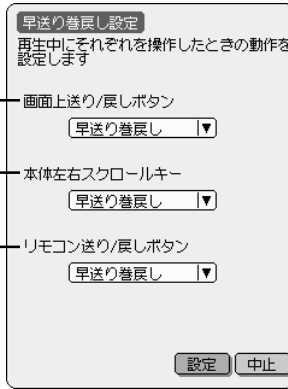
早送り巻戻し設定画面

4

設定にタッチする

画面の説明

早送り巻戻し設定画面



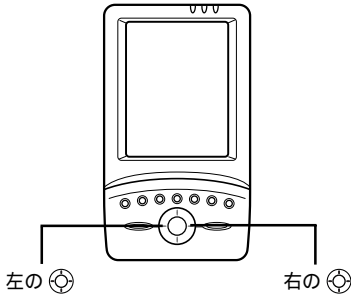
① 画面上送り/戻しボタン

ムービープレイヤー再生画面の次のボタンにタッチしたときの動作を設定します。

- ⏮ (REW.) ボタン
- ⏭ (FWD.) ボタン

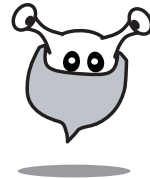
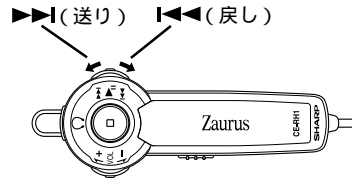
② 本体左右スクロールキー

この製品の左右の Ⓞ を押したときの動作を設定します。



③ リモコン送り/戻しボタン

別売のリモコン付ステレオヘッドホン (CE-RH1) のシャトルの動作を設定します。



この製品の録画予約機能で予約 2

録画予約機能でカードに予約情報を登録します。

録画予約機能とは・・・

この製品の録画予約機能を使って予約情報をカードに登録します。

録画予約機能での予約情報の登録にはカードが必要です(カードについては20ページをご覧ください)。

予約情報を登録したカードを別売のMPEG-4 ビデオレコーダーに装着すると、MPEG-4 ビデオレコーダーはカードの予約情報を認識して、指定の時刻に録画します。

録画予約機能では、以下の3通りの予約方法で予約情報をカードに登録することができます。

日時予約 日時を指定した録画予約の登録 (≒23ページ)

デイリー予約 毎日同じ時間を指定した録画予約の登録 (≒このページ)

ウィークリー予約 毎週同じ曜日の同じ時間を指定した録画予約の登録 (≒46ページ)



320×240ドットのサイズの動画データをこの製品で再生すると、コマ飛び、音飛びします。録画モードを変更して予約設定してください。

別売のMPEG-4 ビデオレコーダーにカードを装着して、カードやMPEG-4 ビデオレコーダーに予約情報を登録することもできます。くわしくは、MPEG-4 ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

毎日決まった時間に録画する

デイリー予約

録画する時刻と録画モードを設定します。

1 電源を切った状態でこの製品にカードを装着する



2 **戻る**(電源)キーを押して電源を入れる



この製品の録画予約機能で予約2

3

ホームインデックスキーを数回押し、ホームインデックス1画面を表示する



4

を使って録画予約アイコンを選択し(決定)キーを押す



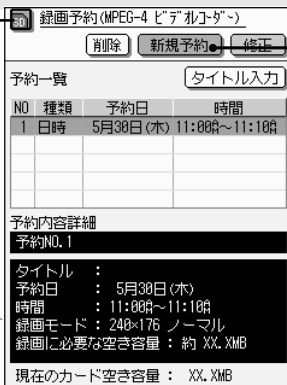
ホームインデックス1画面

5

複数のカードを装着している場合には、(機能(カード))キーをしばらく押して予約情報を登録するカードに切り替える

SDメモリーカードが選択されていることを示す

すでにカード登録している予約情報が表示されます。なお録画に必要な空き容量に示されている空き容量は目安です。



録画予約一覧画面

6

(機能)キーを押した後、(N) (新規作成)キーを押す



7 デイリー予約する

1 「デイリー」にタッチする

2 時刻を入力する

3 録画モードで「サイズ」と「画質」を選択する

予約設定

登録 中止

①予約の種類を選択してください

日時 **デイリー** ワンタイム

②時刻を設定してください

時刻 5:00PM ~ 5:10PM

7	8	9	CE
4	5	6	
1	2	3	
0	AM	PM	

③録画モードを設定してください

サイズ 320×240 240×176 160×120

画質 ファイン ノーマル

予約設定画面(デイリー予約)画面

8 登録にタッチする



注意

デイリー予約の「録画に必要な空き容量」の表示は、1回分の録画容量の目安です。複数回にわたって予約を継続して録画するときは、カードの空き容量をお確かめの上、録画予約をしてください。

毎週決まった時間に録画する ウィークリー予約

録画する曜日と時刻、録画モードを設定します。

1

電源を切った状態でこの製品にカードを装着する

2

戻る(電源)キーを押して電源を入れる

3

ホームインデックスキーを数回押し、ホームインデックス1画面を表示する



ホームインデックス1画面

4

録画予約アイコンを選択し(決定)キーを押す



5

複数のカードを装着している場合には、機能(カード)キーをしばらく押して予約情報を登録するカードに切り替える

6

機能キーを押した後、(N) (新規作成)キーを押す



SDメモリーカードが選択されていることを示す



録画予約一覧画面



7

ウィークリー予約する

予約設定

①予約の種類を選択してください

日時 デイト タイム

②曜日/時刻を設定してください

曜日 日 月 火 水 木 金 土

時刻 00:00P~10:10P

③録画モードを設定してください

サイズ 320×240 240×176 160×120

画質 ファイン ノーマル

登録 中止

1 ウィークリー にタッチする

2 曜日を 選択する

3 時刻を 入力する

4 録画モードで「サイズ」と「画質」を選択する

予約設定画面(ウィークリー予約)画面

8

登録 にタッチする



注意

ウィークリー予約の「録画に必要な空き容量」の表示は、1回分の録画容量の目安です。複数回にわたって予約を継続して録画するときは、カードの空き容量をお確かめの上、録画予約をしてください。



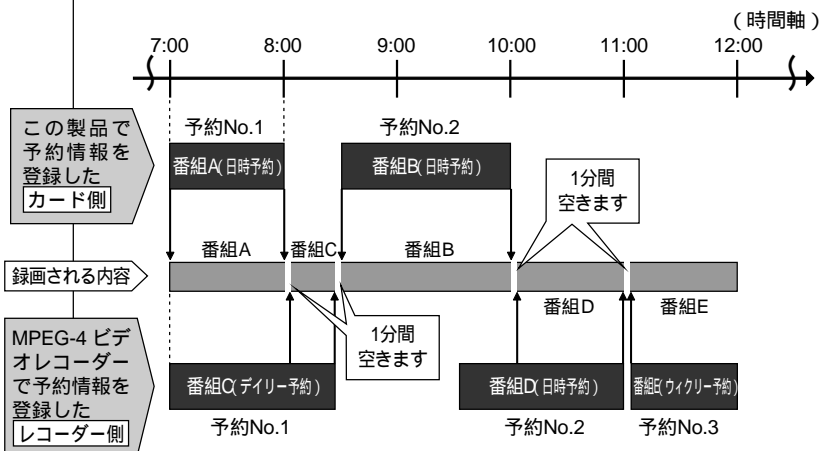
コラム

録画予約について

予約情報は、別売のMPEG-4 ビデオレコーダーを使用して登録することもできます。MPEG-4 ビデオレコーダーでは予約情報をカードまたは、MPEG-4 ビデオレコーダー本体に各5件ずつ登録することができます(くわしくは、MPEG-4 ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください)。

この製品での予約情報(カード側)と、別売のMPEG-4 ビデオレコーダーの予約情報が重複する場合

- (1) カード側とレコーダー側では、カード側を優先して録画します。
- (2) 録画の優先順位は、カード側の No. 1 から No. 5、次にレコーダー側の No. 1 から No. 5 の順です。



- ・予約開始時刻が同じ場合、カード側が優先され番組Aが録画されます。
- ・予約開始時刻から録画されなかった番組Cは、8:01から8:29まで録画され、続いて番組Bが録画されます。
- ・番組Bと重複している番組Dは、番組B録画終了時間の1分後の10:01から10:59まで録画されます。
- ・いずれの番組とも重複していない番組Eは、11:00からそのまま録画されます。
- ・録画終了後、予約情報が残るのは、デیلیー予約の番組Cとウィークリー予約の番組Eです。日時予約の予約情報は録画終了後、自動的に削除されます。
- ・連続した2つの番組を録画予約するには、前の予約設定の録画終了時刻の1分後から次の予約開始時刻を設定してください。
- ・日付をまたがった予約設定する場合は、以下のようにしてください。
[例] 2002年5月1日10:00PM～2002年5月2日2:00AMまでの予約
「時刻」欄に、「10:00PM～2:00AM」と入力します。

予約情報の確認・修正

予約情報の内容が確認できます。予約内容を修正することもできます。

はじめに・・・

電源を切った状態でこの製品に、予約情報が登録されたカードを装着し、電源を入れます。

ホームインデックス1画面で **録画予約** アイコンを選択し **(決定)** キーを押して録画予約一覧画面を表示します。

1

複数のカードを装着している場合は、録画予約一覧画面で **(機能)** (カード) キーをしばらく押してカードを切り替える

2

予約内容を修正する場合は、**(方向キー)** を使って修正する予約情報を選択する

3

(機能) キーを押した後、**(M)** (修正) キーを押す

4

予約情報を修正する

予約設定

登録 中止

①予約の種類を選択してください

日時 デイト タイム

②日時を設定してください

日付 2002年 5月30日(木)

時刻 11:00AM~11:10AM

③録画モードを設定してください

サイズ 320x240 240x176 160x120

画質 ファイン ノーマル

予約一覧で予約内容を確認します。

録画予約 (MPEG-4 ビデオフォーマット)

削除 新規予約 修正

予約一覧 タイトル入力

NO	種類	予約日	時間
1	日時	5月30日(木)	11:00AM~11:10AM
2	デイト	毎日	5:00PM~5:10PM
3	タイム	日曜日	18:00PM~18:10PM

予約内容詳細

予約NO. 1

タイトル :
 予約日 : 5月30日(木)
 時間 : 11:00AM~11:10AM
 録画モード : 240x176 ノーマル
 録画に必要な空き容量 : 約 XX.XMB

現在のカード空き容量 : XX.XMB

録画予約一覧画面

5

登録 にタッチする

予約設定画面

予約の削除

登録した予約情報を削除して取り消します。

はじめに・・・

電源を切った状態でこの製品に、予約情報が登録されたカードを装着し、電源を入れます。

ホームインデックス1画面で **録画予約** アイコンを選択し **決定** キーを押して録画予約一覧画面を表示します。

1

複数のカードを装着している場合は、録画予約一覧画面で **機能** (カード) キーをしばらく押してカードを切り替える

2

○ を使って削除する予約情報を選択する

録画予約 (MPEG-4 ビデオレコーダー)

削除 新規予約 修正

予約一覧 タイトル入力

NO	種類	予約日	時間
1	日時	5月30日(木)	11:00時~11:10時
2	タイトル	毎日	5:00時~5:10時
3	タイトル	日曜日	10:00時~10:10時

予約内容詳細

予約NO.1

タイトル :
 予約日 : 5月30日(木)
 時間 : 11:00時~11:10時
 録画モード : 160×120 フォアイン
 録画に必要な空き容量 : 約 XX.XMB

現在のカード空き容量 : XX.XMB



3

機能 キーを押した後、**後退** (削除) キーを押す



録画予約一覧画面

4

確認のメッセージで **はい** を選択し、**決定** キーを押す
削除される



ほかの方法で録画する

MPEG-4 ビデオレコーダーで録画する以外に、パソコンなどを利用してカードに動画データ(ASF形式のファイル)を転送することができます。

はじめに・・・

動画データ(ASF形式のファイル)をいろいろな機器を使ってパソコンへ転送し、パソコンからそのデータをカードに転送することができます。

〔例〕インターネットビューカムで撮影したデータの入っているスマートメディアを、PCカードアダプターに装着してパソコンのPCカードスロットに入れ、パソコンに動画データ(ASF形式のファイル)を転送。

(注)インターネットビューカムで分割した動画ファイル(ASB形式のファイル)は、別売のパソコン接続キット「PixLab」でASF形式のファイルに変換してから転送してください。

液晶デジタルビューカムの映像を、別売のUSB動画キット「PixLab」でASF形式のファイルに変換し、そのデータをカードに転送することができます。

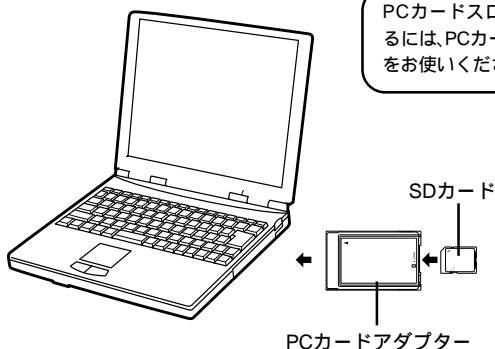
メビウス(PC-X2001)に搭載の「Mebius TV Ver 3.X」を使用して番組を動画データ(ASF形式のファイル)にしてカードに収録することができます。

くわしくは、メビウス(PC-X2001)の取扱説明書およびMebius TV Ver 3.Xのヘルプをご覧ください。

パソコンのPCカードスロットを使ってカードに転送する

1

この製品で使用したことのあるカード
(☞16ページ)をパソコンに装着する





2 エクスプローラ [スタート] - [プログラム] - [エクスプローラ] をクリック などを使って、パソコンの動画データ (ASF形式のファイル) をカードに転送する

- 動画データ (ASF形式のファイル) をカードに転送するには、カード内の「__ZURUS」フォルダまたは「DCMV」フォルダに転送してください。
- 「__ZURUS」フォルダは、この製品にカードを装着し電源を入れると、自動的に作成されます。
- 「DCMV」フォルダは、MPEG-4 ビデオレコーダー (CE-VR1) で録画すると、自動的に作成されます。

3 カードを引き出す

急にカードを抜き出すと、カードに記録されたデータが破損したり、カードの故障の原因となります。カードを抜き出すために必要な操作を行ってください。
カードを取り出す方法はお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。



パソコンのUSBポートに接続したコンパクトフラッシュメモリーカード / SDメモリーカード / マルチメディアカード (MMC) などのカードリーダーの場合も、同様の手順で動画データ (ASF形式のファイル) を転送することができます。

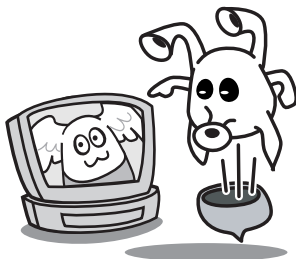


パソコン連携キット(CE-PCK1)を使ってカードに転送する

PCカードスロットなどに対応していないパソコンをお使いの方は、別売のパソコン連携キットを使って動画データ(ASF形式のファイル)を、この製品に装着したカードに転送することができます。ただし、大きなサイズのファイルを転送すると、時間がかかりますのでご注意ください。くわしくは、パソコン連携キット(CE-PCK1：別売品)の取扱説明書をご覧ください。

Sharp Space Townのムービーコーナーを利用して動画データをダウンロードする

Sharp Space Townのホームページの「ムービーコーナー」から動画データ(ASF形式のファイル)をこの製品にダウンロードし、再生することができます。Sharp Space Townの「ムービーコーナー」へは、ムービープレイヤーの操作メニューの「SST ムービーコーナーへ」を選択すると簡単に接続することができます(接続するには、あらかじめインターネット接続設定が必要です)。ダウンロードの方法については『取扱説明書(通信ガイド)』の「インターネット(2)くわしい使いかた」の章をご覧ください。



ミュージックプレーヤー



これがミュージックプレーヤー

どこでも手軽に
音楽が楽しめる



お気に入りの音楽を
MP3ファイルにして
カードで持ち歩ける



音楽を聴きながら
メールの送受信ができる



音楽を聴きながら、文庫・マ
ンガ・ゲームが楽しめる

さっそく音楽を聴いてみよう！

準備

1 必要なものを用意する 56 ページ

2 パソコンに RealJukebox 2 Basic をインストールし、ザウルスプラグインを組み込む 60 ページ

録る

1 この製品(MI-E1)にカードを取り付け、音楽著作権保護情報を記録する 69 ページ

2 パソコンにインストールした RealJukebox 2 Basic で、音楽CD からMP3ファイルを作る 70 ページ

3 パソコンから音楽著作権保護情報の入ったカードに、音楽データ(MP3ファイル)を転送する 73 ページ

聴く

音楽データ(MP3ファイル)の入ったカードとステレオヘッドホンをザウルスに装着し、ミュージックプレーヤーで再生する 79 ページ



この製品(MI-E1)にカードを装着して記録する音楽著作権保護情報(独自方式)は、SDメモリーカードの著作権保護方式(SDMI規格)には対応していませんので、SDメモリーカードにもこの製品を使って音楽著作権保護情報を記録する必要があります(69 ページ)。



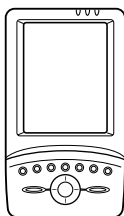
準備 1

必要なものを用意する

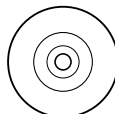
音楽データを録音/再生するのに必要なものを説明します。

音楽を録音するのに必要なもの

MI-E1



付属のソフトコレクション
CD-ROM



• 音楽著作権保護情報をカードに記録するのに使います。

- RealJukebox 2 Basic日本語版
- RealPlayer 8 Basic日本語版
- RealDownload 4 Basic日本語版
- ザウルスプラグイン for RealJukebox Ver. 1.2

MI-E1、ソフトコレクションCD-ROM以外に、次のような市販品などが必要です。

カード(音楽データの録音用)¹

次のSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)またはコンパクトフラッシュメモリーカードのいずれかを使用します。

SDメモリーカード
マルチメディアカード(MMC)
コンパクトフラッシュメモリーカード



1

動作確認済みカードについては「ザウルスサポートステーション」のホームページをご覧ください(2000年12月現在)。
<http://zaurus.spacetown.ne.jp/>

注意

SDメモリーカードは初期化(フォーマット)して出荷されておりますのでそのままお使いください。

パソコンなどで再初期化すると、この製品で使用できなくなります。ご注意ください。

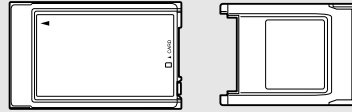


録音に必要なカードのメモリー容量は、録音する音楽データの音質(ビットレート)や曲の長さによって変わります。目安として、ビットレートが96kbpsの場合、再生時間3分あたり約2.1MB必要となります。

PCカードアダプター²

使用するカードに合わせて、次のいずれかのPCカードアダプターが必要です。

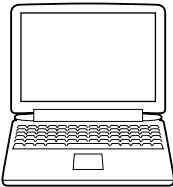
- SDメモリーカード用PCカードアダプター
- マルチメディアカード(MMC)用PCカードアダプター
- コンパクトフラッシュメモリーカード用PCカードアダプター



2

PCカードスロットに対応していないパソコンの方や光通信やケーブル通信をご利用になる場合は、PCカードアダプターは必要ありません。

パソコン(必要な動作環境については次ページをご覧ください)



- ・PCカードスロット対応のパソコン
- ・PCカードスロット対応していないパソコン³

3

IrDAによる光(赤外線)通信が使用できる環境がない場合は、下記のいずれかをお使いください。

PCカードスロットに対応していないパソコンは「USB接続ケーブル」または「パソコン接続ケーブル」を使って使用することができます。

使用できるUSB接続ケーブルおよびパソコン接続ケーブル

[USB接続ケーブル]

- ・CE-175TU (パソコン連携キットCE-PCK1に同梱のUSB接続ケーブル。詳細はCE-PCK1の取扱説明書をご覧ください。)

[パソコン接続ケーブル]

- ・CE-170TS
- ・CE-155TS (オプションポート変換アダプター(CE-HA15)が必要です。)
- ・CE-150TS (オプションポート変換アダプター(CE-HA15)が必要です。)

パソコンに外付けのコンパクトフラッシュメモリーカード用/SDメモリーカード用/マルチメディアカード(MMC)用リーダーライターを付けて使用することができます。

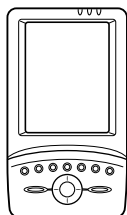


お手持ちのパソコンのRS-232CコネクターがD-SUB9ピンでないときは、市販の変換コネクターも必要です。



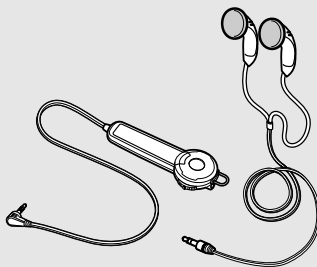
音楽を再生するのに必要なもの

MI-E1



次のいずれかのステレオヘッドホンが必要です。

別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)



ザウルスに取り付けて音声を聞きます。
リモコンで再生や一時停止の操作ができます。

↓または↑

市販のステレオヘッドホン(プラグ直径:3.5mm
(3.5))



必要なパソコンの動作環境

OS

日本語Microsoft® Windows® Me^(注1) / Windows® 2000 Professional^(注2) /
Windows® 98 / Windows® 95^(注3) / Windows® NT 4.0 (Service Pack4)

(注1) Windows Meの赤外線通信には対応していません。

(注2) Windows 2000 Professionalでは赤外線通信は使用できません。

(注3) 使用可能なWindows 95のバージョンは、4.00.950B、4.00.950Cです。Windows 95のバージョンを確かめたいときは、[マイコンピュータ] アイコンを右クリックして[プロパティ]を選び、[情報] タブの「システム」の項目で「Microsoft Windows 95」の下をご覧ください。

CPU

最小 Intel® Pentium® プロセッサ200 MHz MMX、Cyrix® 6 × 86MX
PR233またはAMD® K5 PR-200

推奨 Intel® Pentium® プロセッサ300 MHz MMX、Cyrix® M™-300、ま
たはAMD® K6® -2/300



メモリ

最小 32 MB

推奨 64 MB

ハードディスク空き容量

最小 ソフトウェア用:15 MB 音楽データ用:200 MB

推奨 ソフトウェア用:15 MB 音楽データ用:1 GB

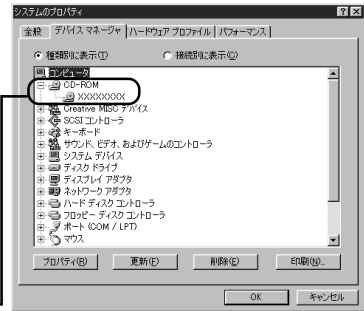
CD-ROMドライブ

デジタルオーディオ抽出対応のCD-ROMドライブ。

古いIDEドライブでは、録音時に雑音が混ざる可能性があります。また、以下のCD-ROM ドライブには、録音時に問題が発生する可能性があります。

- MITSUMI CD-ROM FX410A !B/FX3400S
- TOSHIBA CD-ROM XM-5702B/6202B
- TORISAN CD-ROM U200
- NEC24X CD-ROM CDR-1810A

CD-ROMドライブの種類を確かめたいときは、[マイコンピュータ] アイコンを右クリックして [プロパティ] を選び、[デバイスマネージャ] タブでCD-ROMの種類を確認します。



ビデオカード

最低解像度800×600の16ビット色表示可能なビデオカード

サウンドカード

全二重サウンドカードおよびスピーカー

このほかに

インターネットに接続できる環境とWWWブラウザ (Microsoft Internet Explorer 4.01以降) が必要です。



お使いのパソコンによっては、CDから音楽をデジタル録音できなかったり、カードやこの製品に音楽データを転送できない場合があります。

準備 2

パソコンにソフトをインストールする

音楽データを作成するためのソフトをインストールします。

RealJukebox 2 Basic をインストールする

お使いになる前に・・・

パソコンのCD-ROMドライブはRealJukebox 2 Basicに対応していますか？
(58ページの「必要なパソコンの動作環境」をご覧ください。)

パソコンで使用中のアプリケーションソフトはすべて終了させましたか？

すでにRealJukebox 2 Basic もしくはRealJukebox 2 Plusをお持ちの方は、
RealJukebox 2 Basicをインストールする必要はありません。64ページの「ザウルス
プラグイン for RealJukebox をインストールする」を実行した後、101ページ
の「RealJukebox 2 Basic またはRealJukebox 2 Plusをお持ちの場合」の手順を
行ってください。

インストールの完了に続いて、インターネットでオンライン登録などを行いますので、
パソコンをインターネットに接続できる準備をしておいてください。

1

パソコンのCD-ROMドライブに、付属のソフトコレクション
CD-ROMを入れる

しばらくすると、ソフトコレクション CD-ROM のセットアップ画面が
表示される



2

画面上の **お読み下さい** をクリックする。
表示された内容を読み、読み終わったらメモ帳を終了する

3

RealJukebox™ 2 Basic をパソコンにインストール
をクリックする



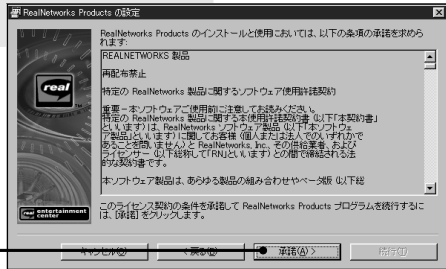
4

次へ をクリックする



5

ライセンス契約の内容を確認し、承諾 をクリックする



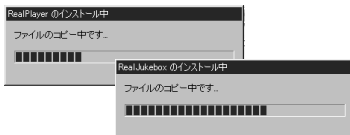
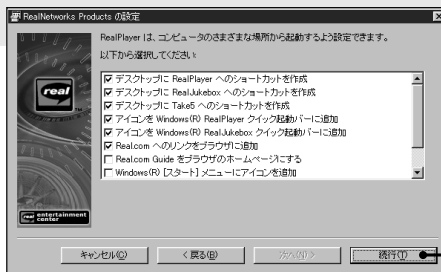
6

インストール先を確認し、次へ をクリックする



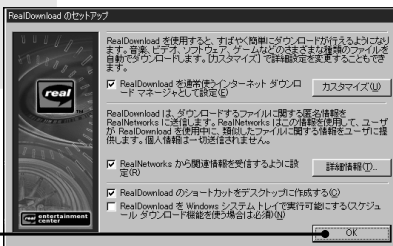
7

インストールされる内容を確認し、**続行** をクリックする
自動的にRealPlayer 8 Basicのインストールが始まる
RealPlayer 8 Basicのインストールが終わると、続いて
RealJukebox 2 Basicのインストールが自動的に始まる



8

[RealDownloadのセット
アップ]画面を確認し、
OK をクリックする



9

ここでは後で登録することに
して、**キャンセル** をクリック
する

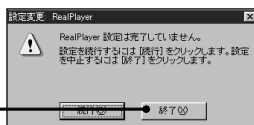


オンライン登録は後から行うことができます。登録する場合は、RealPlayer 8 Basicをもう一度起動してください。
オンライン登録ウィザードが表示されます。



10

終了 をクリックする
 続いて自動的にインター
 ネットに接続し、WWWブラ
 ウザが立ち上がる



11

インターネットを終了する

12

RealPlayerを終了する
 ソフトコレクション CD-ROMのセッ
 トアップ画面はそのまましておく



60～63ページの操作を行うと、「RealJukebox 2 Basic」「RealPlayer 8 Basic」「RealDownload 4 Basic」の3つのソフトウェアがインストールされます。「RealJukebox 2 Basic」は音楽CDを録音したり、録音した音楽データ(MP3ファイル)をパソコンで楽しむためのソフトウェアです。「RealPlayer 8 Basic」はMP3形式などの音楽データをパソコン上で再生できるソフトウェアです。「RealDownload 4 Basic」はインターネットで利用できるダウンロードユーティリティです。これらのソフトウェアの使いかたについて、本書では詳細は説明していません。各ソフトウェアのオンラインマニュアルやヘルプなどをご覧ください。なお、RealJukeboxのオンラインマニュアルはRealJukebox 1 Plus版に基づいた内容になっているため、このRealJukeboxではご利用いただけない機能についても記載されています。また、これらのソフトウェアに関するサポート情報は次のホームページをご覧ください(2000年11月現在)。

RealJukeboxに関する情報：<http://www.jp.real.com/rjcentral/>

製品全般：<http://www.jp.real.com/>



ザウルスプラグイン for RealJukebox をインストールする

ザウルスプラグイン for RealJukeboxは、RealJukeboxからこの製品(MI-E1)で使用するカードに音楽データ(MP3ファイル)を転送するためのソフトウェアです。



- 1 ソフトコレクション CD-ROMのセットアップ画面で、画面右中央の「お読み下さい」をクリックする



- 2 表示された内容を読み、読み終わったらメモ帳を終了する

- 3 ザウルスプラグイン for RealJukebox™をパソコンにインストールをクリックする

- 4 [SETUP] 画面が表示されたら、[OK] をクリックする

- 5 ソフトコレクション CD-ROMのセットアップ画面で、[中止] をクリックして閉じ、付属のCD-ROMを取り出し、保管する

RealJukebox 2 Basic の設定を変更する

ザウルスプラグインを組み込む

すでにRealJukebox 2 Basic またはRealJukebox 2 Plusをインストール済みの方は、101ページの「RealJukebox 2 BasicまたはRealJukebox 2 Plusをお持ちの場合」をご覧ください。

ミュージックプレーヤー



1

デスクトップ上の[RealJukebox]アイコンをダブルクリックする
RealJukeboxが起動し、[オンライン登録カード]画面が表示される



2

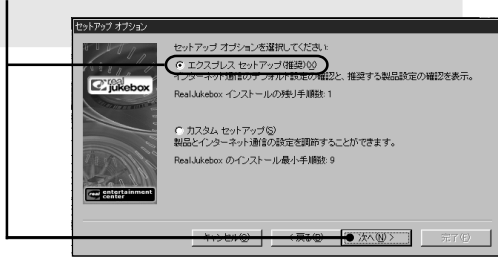
電子メールアドレスなどを入力し、**次へ** をクリックする

お客様のメールアドレスを入力する(必須)

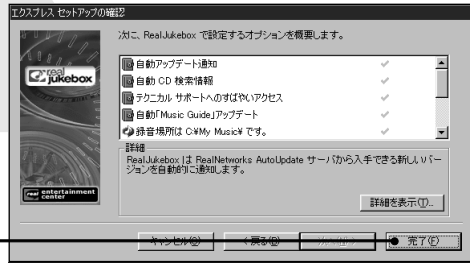
3

RealJukeboxに関する情報を読んで、**次へ** をクリックする

4 [セットアップオプション] 画面で [エクスプレスセットアップ(推奨)] を選択し、[次へ] をクリックする

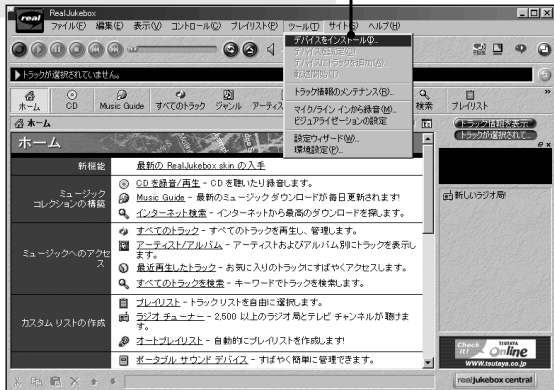


5 [エクスプレスセットアップの確認] 画面で [完了] をクリックする

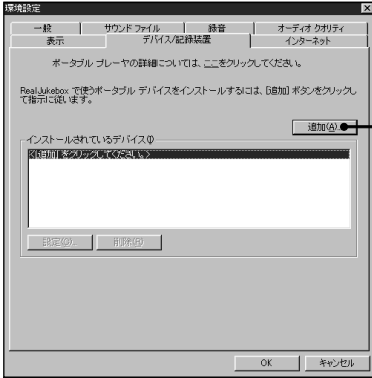


6 画面の指示に従い、RealJukeboxをデフォルトプレイヤーにするかどうかを設定する

7 RealJukeboxの[ツール]メニュー - [デバイスをインストール] をクリックする

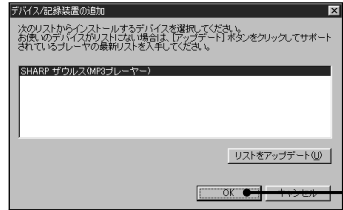


8 デバイスをインストールする



1 追加をクリックする

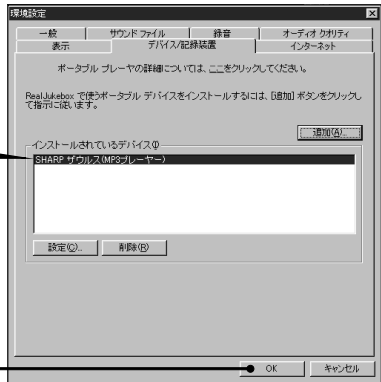
2 [デバイス/記録装置の追加] 画面で [SHARP ザウルス(MP3 プレーヤー)] を選択されていることを確認し、OK をクリックする



3 [デフォルトの録音フォーマット] 画面で、デフォルトの録音フォーマットを確認し、OK をクリックする



[インストールされているデバイス] 欄に [SHARP ザウルス(MP3 プレーヤー)] が追加されます。



4 OK をクリックする



環境設定を変更する（重要）

1

デスクトップ上の[RealJukebox]アイコンをダブルクリックして、RealJukeboxを起動する

2

[ツール]メニュー - [環境設定] をクリックする



3

以下のように設定を変更する

① [一般] タブ：

CDを挿入すると自動的に全曲の録音を行うように設定したくない場合は、
[CDを自動録音する]のチェックを外す

② [オーディオクオリティ] タブ：

- (1) [フォーマットを選択] から、[MP3オーディオ] をクリックして選ぶ
[MP3オーディオ] 以外で録音したデータもこの製品 (MI-E1) に転送して再生することができ、
[MP3オーディオ] を選択することを推奨します。
- (2) [セキュアファイル] の [エンコード時サウンドファイルをセキュアにする] にチェックマークが付いていることを確認する

③ [録音] タブ：

[CDドライブオプション] をクリックして、お使いのパソコンのCD-ROMドライブのタイプを選択し、
[OK] をクリックする

CD-ROMドライブのタイプがわからない場合は、[標準] のままに設定しておいてください。
音楽CDから録音できない場合は [その他の種類] をクリックしてチェックし、
CD-ROMドライブのタイプを選択して設定してください。

4

[環境設定] 画面の右下の [OK] をクリックする



録る

音楽データをカードに録る

好きな音楽を音楽CDからパソコンに取り込んで音楽データ(MP3ファイル)を作り、カードに転送します。

音楽著作権保護情報をカードに記録する

付属のRealJukebox 2 Basicでは、音楽著作権保護情報(独自方式)が記録されていないカードには、著作権保護のためMP3ファイルを転送できないようになっています。

以下の手順で、この製品(MI-E1)でカードに音楽著作権保護情報を記録してください。

1

この製品の電源を切り、この製品にMP3ファイルを記録したいカードを装着する

カードの装着方法は、『取扱説明書(基本編)』の「カード」の章をご覧ください。

2

この製品の電源を入れ、**ホームインデックス** キーを数回押し、ホームインデックス1画面を表示する

3

⊕を使って **MUSICプレーヤー** アイコンを選択し、**決定** キーを押す



ミュージックプレーヤーが起動し、取り付けたカードに音楽著作権保護情報が記録される



この製品(MI-E1)にカードを装着して記録する音楽著作権保護情報(独自方式)はSDメモリーカードの著作権保護方式(SDMI規格)には対応しておりませんので、SDメモリーカードにも上記の「音楽著作権保護情報をカードに記録する」の操作が必要となります。

カードをパソコンに装着して音楽データを転送するとき(73ページ)には、手順3の後、本体の電源を切ってカードを取り出します。取り出し方は、『取扱説明書(基本編)』の「カード」の章をご覧ください。



音楽データを作成する - 音楽CDから録音する

音楽CDのデータファイルをMP3ファイルに変換して、パソコンのハードディスクに保存します。

はじめに・・・

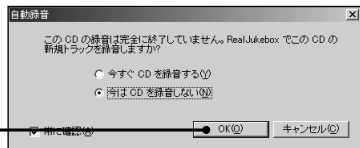
パソコンのCD-ROMはRealJukeboxの動作に対応していますか？
 (⇒58ページの「必要なパソコンの動作環境」をご覧ください)
 ノートパソコンをお使いの場合、省電力機能が「切」になっていますか？
 ほかのソフトをすべて終了し、スクリーンセーバーも動作させない設定になっていますか？


1 デスクトップ上の[RealJukebox]アイコンをダブルクリックして、RealJukeboxを起動する

2 (CD) をクリックする

3 CD-ROMドライブに、音楽CDをセットする

4 [自動録音]画面が表示されたときは、[今はCDを録音しない]を選択し、[OK]をクリックする
 曲の一覧が表示される



5 録音しない曲のをクリックしてチェックマークを外す

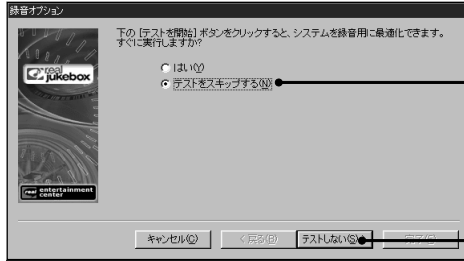
6 (録音) ボタンをクリックする



7

録音する方法を指定する

① ここでは[テストをスキップする]を選択し、**テストしない**をクリックする



② 「テストをスキップしました・・・」というメッセージ画面が表示されたら、**完了**をクリックする

選んだ曲の録音が始まります。安定して録音が行われるように、録音中はパソコン上で、できるだけほかの操作をしないようにしてください。

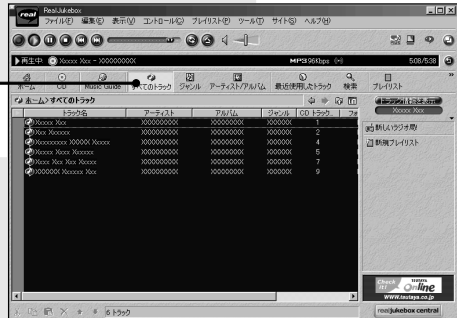
録音が終了した曲の[録音ステータス]は[録音済]になります。



- ・録音した音楽データ(MP3ファイル)は通常、Cドライブの「My Music」フォルダに保存されます。
- ・2回目以降は、[録音オプション]画面は表示されず、録音が始まります。

8

すべてのトラック (すべてのトラック)をクリックし、
録音した曲を表示させる



9

録音した曲をクリックして**選び** (再生)をクリックして、正しく録音されているかどうかを確認する



音楽CDからの録音時、お使いのパソコンによっては、雑音が混じる場合があります。



●録音 ボタンをクリックしたときに「アナログ録音します」というメッセージが表示されたときは、以下の手順でRealJukeboxの設定を変更してください。

- 1 RealJukeboxの[ツール]メニュー - [環境設定]をクリックする
- 2 [録音]タブをクリックし、[録音方法]が[デジタル]になっていることを確認する
- 3 **CDドライブオプション**をクリック、[その他の種類]をクリックし、ドライブの一覧からお使いのCD-ROMドライブを指定する
CD-ROMドライブの種類がおわかりにならない場合は、1つずつ選択して試してください。
- 4 **OK**をクリックする
- 5 [環境設定]画面の右下の**OK**をクリックする



コラム

録音の音質(ビットレート)とファイルの大きさについて

音質を上げると、録音された音楽データ(MP3 ファイル)の容量は大きくなります。そのため、高音質でたくさんの曲を楽しみたいときは、大容量のカードが必要になります。逆に、音質よりも長時間いろいろな曲を楽しむことを優先したいときは、ビットレートを下げて音楽データの容量を小さくすることで、カードにたくさんの曲を入れることができます。

録音時の音質を変更したいときは、

- 1 [ツール]メニュー - [環境設定]をクリックする
- 2 [オーディオオリティ]タブをクリックする
- 3 [クオリティレベルを選択]で好みの音質を選択する
ビットレートの数字が大きいほど、高音質になります。
- 4 **OK**をクリックする

音楽データをカードに転送する

はじめに・・・

音楽データ(MP3 ファイル)をカードに転送するには 2 つの方法があります。
 パソコンの PC カードスロットを使ってカードに転送する方法(☞75ページ)
 パソコンからこの製品(MI-E1)に装着のカードに転送する方法(☞97ページ)

ザウルスプラグインを設定する

音楽データの転送にはまず、ザウルスプラグインを設定する必要があります。

1

デスクトップ上の[RealJukebox]
アイコンをダブルクリックして、
RealJukeboxを起動する

2

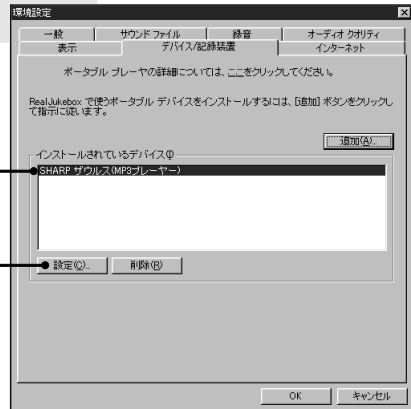
[ツール]メニュー - [環境設定]を
クリックする

3

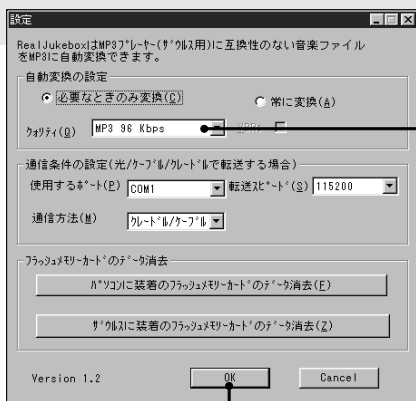
[デバイス/記録装置]タブをクリックし、
[SHARPザウルス(MP3 プレーヤー)]を選択する

4

[設定] をクリックする



5 [MP3 96 Kbps]になっていることを確認する



6 OK をクリックする



[自動変換の設定]で音楽データ(MP3 ファイル)を再圧縮してカードに転送することができます。クオリティを小さい値にすると音質は劣化しますがより多くの音楽データをカードに転送することができます。このときには、[常に変換]を選択し、クオリティを小さい値にします。

[使用するポート][転送スピード][通信方法]の設定は、この製品に装着のカードにMP3ファイルを転送する場合に必要です(97ページ)。パソコンのPCカードスロットを使って転送する場合は、設定する必要はありません。

7 [環境設定 画面で OK] をクリックする

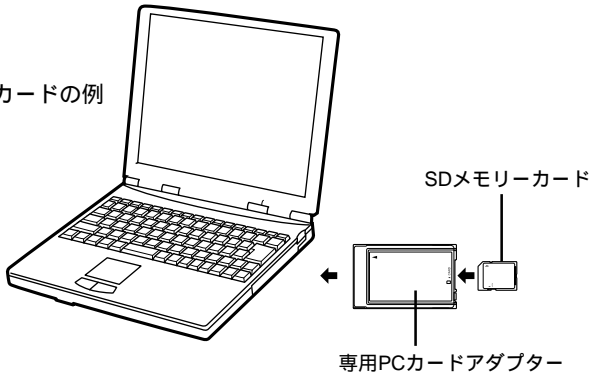


パソコンのPCカードスロットを使ってカードに転送する

1

音楽著作権保護情報 (69ページ) が記録されたSDメモリーカードまたはマルチメディアカード (MMC)、コンパクトフラッシュメモリーカードをパソコンに装着する

SDメモリーカードの例



PCカードスロットに装着するには、カードに合わせてSDメモリーカード専用またはマルチメディアカード (MMC) 専用、コンパクトフラッシュメモリーカード専用のPCカードアダプターをお使いください。

2

デスクトップ上の [RealJukebox] アイコンをダブルクリックして、RealJukeboxを起動する



3

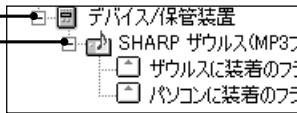
音楽データの転送先(カード)を表示する



- 1 [E] (オーガナイザーを表示) をクリックし、オーガナイザーを表示する
(もう一度クリックすると表示が消える)
[表示]メニュー-[オーガナイザー]をクリックしてチェックを付けても表示できる

オーガナイザー

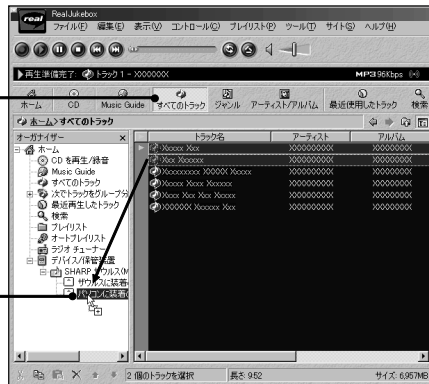
- 2 オーガナイザー表示の[デバイス/保管装置]の左側の[+]をクリックする
次に[SHARP ザウルス(MP3 プレーヤー)]の左側の[+]をクリックする



4

転送したい曲(音楽データ:MP3 ファイル)を表示し、転送する曲を選択して転送先へコピーする

- 1 すべてトラック (すべてのトラック) をクリックする
- 2 転送したい曲を選び、複数選択可能[SHARP ザウルス(MP3 プレーヤー)]の下にある[パソコンに装着のフラッシュメモリーカード]にドラッグアンドドロップする



- 3 [パソコンに装着のフラッシュメモリーカード] をクリックする
 中央の欄にドラッグアンドドロップした曲が表示され [転送ステータス] が [転送準備完了] になっていることを確認する



- 4 [転送開始] をクリックする
 音楽データ (MP3 ファイル) がカードに転送され、転送が終了すると [転送ステータス] が [プレーヤ上] に変わる



RealJukeboxを起動中または、起動させてからカードを装着したとき [表示]メニュー - [更新] をクリックしてカードを認識させます。
 この方法でカードにMP3データを転送できないときは、RealJukeboxを再起動してください。

5 カードを抜き出す


(注) 急にカードを抜き出すと、カードに記録されたデータが破損したり、カードの故障の原因となります。カードを抜き出す前に、カードを抜き出すために必要な操作を行ってください。カードを抜き出す方法は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。





パソコンのPCカードスロットを使ってカードに転送する(その2)

75ページの手順1、2の後、以下の手順でも音楽データをカードに転送できます。

- ①  **すべてのトラック** をクリックし、転送したい曲を表示し転送したい曲を選択(複数選択可)する
- ② 画面の右側の欄の **コピー**、**デバイス** をクリックする
- ③ [**デバイスへのコピー**]画面で[**SHARPザウルス(MP3プレーヤー): パソコンに装着のフラッシュメモリーカード**]を選択し **OK** をクリックする
左側の欄の **転送ステータス** が **転送準備完了** になっていることを確認する
- ④ 画面の右側の欄の **転送開始** をクリックする
音楽データ(**MP3ファイル**)がカードに転送され、転送が終了すると [**転送ステータス** が **プレーヤ上**] になる



パソコンに外付けのコンパクトフラッシュメモリーカード用 / SDメモリーカード用 / マルチメディアカード(MMC)用リーダーライターへも、同様の手順でMP3ファイルを転送することができます。
音楽著作権保護情報が記録されていないカードに、MP3ファイルを転送しようとするとうエラーメッセージが表示されます。
この場合は、パソコンからカードを取り出し、69ページの手順に従って、カードに音楽著作権保護情報を記録してください。



この後「音楽を再生する」に進んでください。

聴く

音楽を再生する

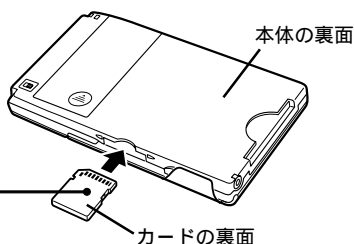
この製品で音楽データを再生します。

お使いになる前に・・・

CE-AP1をご購入の方で「MP3プレーヤー」MOREソフトが入っているコンパクトフラッシュメモリーカードの音楽データを再生するときには、コンパクトフラッシュメモリーカードから「MP3プレーヤー」MOREソフトを削除してお使いください。

1

電源を切り、この製品に音楽データ(MP3ファイル)の入ったカードを装着する



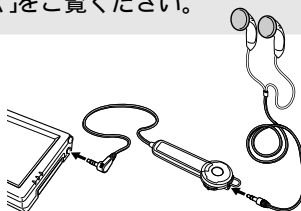
2

この製品に別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)または市販のステレオヘッドホン(プラグ直径:3.5mm(3.5))をつなぐ

CE-RH1のリモコンを使ってミュージックプレーヤーを操作する方法については、82ページの「コラム」をご覧ください。

3

戻る(電源)キーを押し電源を入れる



4 ステレオヘッドホンに耳に装着し、ミュージックプレーヤーを実行して、再生する

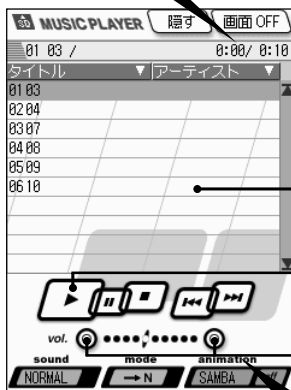
- ① **ホームインデックス** キーを数回押し、ホームインデックス1画面を表示する



- ② **ホームインデックス** を使って **MUSICプレーヤー** アイコンを選択し、**決定** キーを押す



これまでに再生した時間と総再生時間が表示されます。



- ③ 聴きたい曲を **ホームインデックス** を使って選択する

- ④ **決定** キーを押して、再生する

- ⑤ 左右の **音量** にタッチして音量を調整する

ミュージックプレーヤー一覧画面

右の **音量** 音量が大きくなる
左の **音量** 音量が小さくなる



ボタンの説明



途中で再生を止める



曲の始めに戻す / 前の曲に移る



一時停止する
再開するときはまだ一度押す



次の曲に移る



ミュージックプレーヤーで音楽データを再生しているとき、曲と曲の間では画面タッチやキー入力などの操作を一時的に受け付けられない場合があります。この製品では著作権保護の目的から、お手持ちのカードに転送した音楽データは、ほかのカードやパソコンにコピーしても再生できない仕組みになっています。

メールを送受信したり、メール、ブックビューア、マンガビューアを読みながら、BGMとして音楽を楽しむことができます。

エンターテインメントスロットとインターネットスロットの両方に音楽データ(MP3ファイル)の入ったカードを装着しているときは(機能)カードキーをしばらく押して聴きたい曲の入っているカードに切り替えます。

画面左上のアイコンを、SDメモリーカード/マルチメディアカード(MMC)のときはに、コンパクトフラッシュメモリーカードのときはにします。

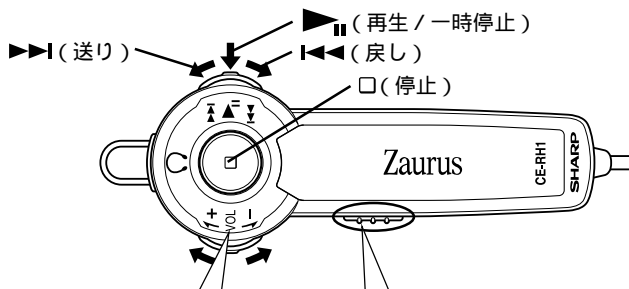
画面左上のアイコンにタッチし、メモリーカードを選択することもできます。





コラム

リモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)での操作
リモコン付ステレオヘッドホンのリモコンを使って、一覧画面や再生中の画面で操作ができます。



VOL + (音量大) / VOL - (音量小)
- 側にシャトルを回すと音が一段階小さくなります。
+ 側にシャトルを回すと、音が一段階大きくなります。

HOLD (誤動作防止) スイッチ
HOLDスイッチをオンにするとリモコンの操作が無効になります。
誤ってボタンが押されて再生が始まったり、知らない間に再生して電池が消耗したりすることなどを防げます。

リモコンの操作	一覧画面	再生画面
▶▶ (再生)	選択した音楽データを再生	再生中： 一時停止 一時停止中： 再生開始
▶▶ (一時停止)		
◀◀ (戻し)	一つ前の音楽データを選択 (データ戻し)	・ 曲戻し (曲の始めに戻したり、前の曲に移る) ・ 巻戻し (巻き戻す) ()
▶▶ (送り)	次の音楽データを選択 (データ送り)	・ 曲送り (次の曲に移る) ・ 早送り (早送りする) ()
□ (停止)	-	再生停止

() 早送り巻戻し設定 (☞ 93ページ)でリモコンの◀◀ (戻し) ▶▶ (送り)の動作を変えることができます。

電源が切れているときに▶▶ (再生/一時停止)を押すと、電源が入り、音楽の再生が始まります (再生は前回、最後に聴いていた曲からとなります)。□ (停止)をしばらく押し続けると、電源が切れます。再生を停止した後、約3分間はリモコンを使って操作できます。



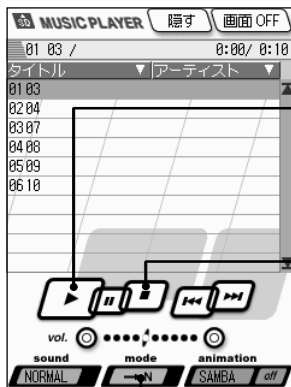
聴く

いろいろな方法で再生する

通常の再生のほかに、4種類の再生方法があります。

1

mode に数回
タッチして目的の再生方法
に切り替える



2

▶ にタッチ
して再生する

3

途中で再生を
停止するときは
◻ にタッチする



: ノーマル

全曲を選んだ曲から順番に再生し、自動停止します。



: ランダム

全曲を順不同に再生し、自動停止します。



: ランダム・リピート

全曲を繰り返し、順不同に再生します。



: リピート

全曲を繰り返し再生します。



: 1 曲リピート

選んだ 1 曲を繰り返し再生します。



聴く

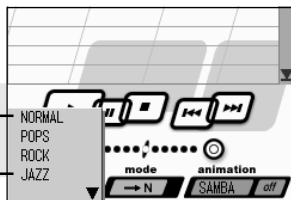
好みの音質を選ぶ

音楽のジャンルに合わせて、通常の音質(ノーマル)のほかに6種類の音質の中から選ぶことができます。

好みの音質を選ぶ

通常の音質(ノーマル)のほかに、再生する音楽のジャンルに合わせて切り替えると便利です。

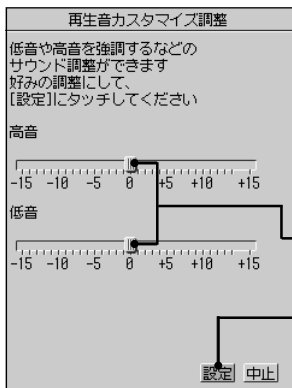
- 1 sound にタッチして、メニューから音質を選択する



好みの音質に調整する(カスタマイズ)

好みの音質を「CUSTOM」に登録できます。設定した音質は「CUSTOM」に登録され、「CUSTOM」を選ぶと設定した音質で再生されます。

- 1 音楽を聴きながら調整する場合は、音楽を再生する



- 2 sound にタッチし、メニューからカスタマイズ設定を選択する

- 3 高音・低音の設定を行う

① つまみにタッチしたままスライドし、低音・高音を好みに合わせて調整する

② 設定 にタッチする

再生音カスタマイズ調整画面



低音を強調した状態で音量を大きくすると、再生する曲によっては音質が悪くなる場合があります。



ミュ - ジックプレーヤーの表示を切り替える

再生中の画面や一覧画面の表示を変更することができます。

ミュージックプレーヤーの画面を隠す

音楽を聴きながらメールを作ったりパソコンを楽しむなど、この製品でほかのことができるように、ミュージックプレーヤーの画面を隠すことができます。

1

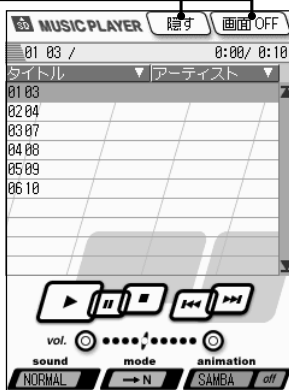
隠す または 画面OFF にタッチする

隠す

ほかの機能を使うときにタッチします。
隠すにタッチしてミュ - ジックプレーヤーの画面を隠します。元に戻すときは、ホームインデックス1画面で[MUSICプレーヤー]アイコンを選択し(決定)キーを押します。

画面OFF

純粋に音楽だけ楽しみたいときにタッチします。
画面OFFにタッチして画面に何も表示させないようにします。省電力効果があります。
(決定)キーなどを押すか、画面にタッチすると、画面が表示されます。



ミュージックプレーヤー



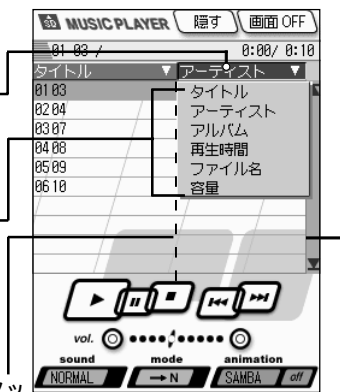
表示する項目を切り替える

1

表示する項目を変更したい項目名にタッチする

2

表示されたメニューで表示したい項目にタッチする



項目名の区切りの延長上にタッチして区切り線を表示し、左または右にずらすと表示幅が変わる

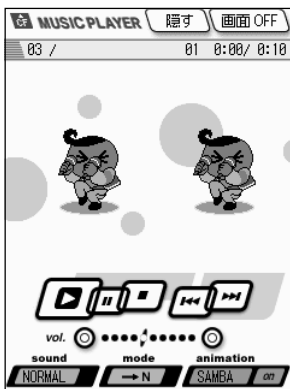
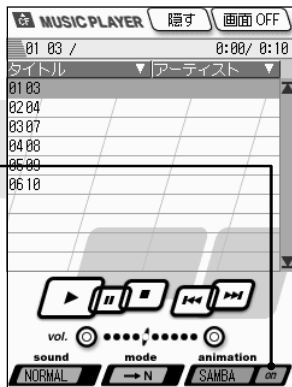
タッチしたまま左にずらすと、項目を増やすことができる

再生中にアニメーションを表示する

再生中にアニメーションを表示できます。

1 ここにタッチして、再生中のアニメーションの表示をON/OFFする

ミュージックプレーヤー



on : 音楽を再生中、画面にアニメーションを表示



off : アニメーションの表示なし

注意

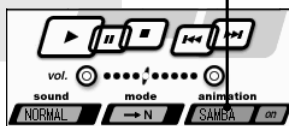
アニメーションを表示していると、充電電池の消費が早くなりますので、充電電池の消費には十分ご注意ください(⇒次ページ)。

アニメーション表示の設定を変更する

音楽再生中にアニメーションを表示する / しないを、電池使用時と、ACアダプター使用時にわけて設定することができます。
またアニメーションのデータを本体メモリーとカード間で移動することができます。

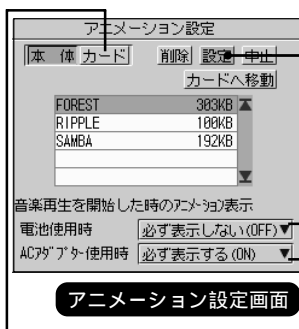
1

animation にタッチする



2

ここにタッチしてアニメーションの表示、非表示を選択し、設定 にタッチする



アニメーション設定画面

ユーザー設定の「カード設定」で設定されているカードに切り替える

- 必ず表示する(ON)・・・音楽を再生するとき、必ずアニメーションを表示する

ミュ - ジックプレーヤー画面で **ON** にタッチして **OFF** に切り替えて非表示にすることもできますが、電源を切ったり、ほかの機能の画面に切り替えたりした後、ミュージックプレーヤー画面で音楽を再生すると、アニメーションの表示に戻ります。

- 必ず表示しない(OFF)・・・音楽を再生するとき、アニメーションを表示しない

ミュ - ジックプレーヤー画面で **OFF** にタッチして **ON** に切り替えて表示することもできますが、電源を切ったり、ほかの機能の画面に切り替えたりした後、ミュージックプレーヤー画面で音楽を再生すると、アニメーションの非表示に戻ります。

- 前回の状態に従う・・・前回ミュージックプレーヤーを使用していたときの状態に戻る



アニメーションのデータを本体からカードへ(またはカードから本体へ)移動するには、アニメーション設定画面で移動したいデータにタッチして選択し、**カードへ移動** または **本体へ移動** にタッチします(対象となる「カード」は、ユーザー設定の「カード設定」で設定されているカードです)。

アニメーションのデータを削除したいときは、アニメーション設定画面で削除したいデータにタッチしてから **削除** にタッチします。



好みのアニメーションに切り替える

同梱のソフトコレクションCD-ROMから「SAMBA」以外に「FOREST」「RIPPLE」というアニメーションをダウンロードしてお楽しみいただくことができます。

1 ミュージックプレーヤー一覧画面で **animation** にタッチする

2 好みのアニメーションデータを選び、**設定** にタッチする



画面デザインを切り替える

同梱のソフトコレクションCD-ROMから「スタンダード」「クール」という画面デザインをダウンロードしてお楽しみいただくことができます。

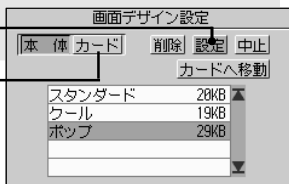
1 **操作メニュー** キーを押して **デザイン** を選択し、**決定** キーを押す

2 **方向キー** で切り替えたい画面デザインを選択し、**決定** キーを押す



ペン
タッチ

ユーザー設定の「カード設定」で設定されているカードに切り替える



画面デザイン設定画面



画面デザインのデータを本体からカードへ(またはカードから本体へ)移動するには、画面デザイン設定画面で移動したりデータにタッチして選択し、**カードへ移動**または**本体へ移動**にタッチします(対象となる「カード」は、ユーザー設定の「カード設定」で設定されているカードです)。

画面デザインのデータを削除したいときは、画面デザイン設定画面で削除したいデータにタッチしてから**削除**にタッチします。

あらかじめこの製品に入っている「ポップ」はカードに移動したり削除できません。



再生開始画面を設定する

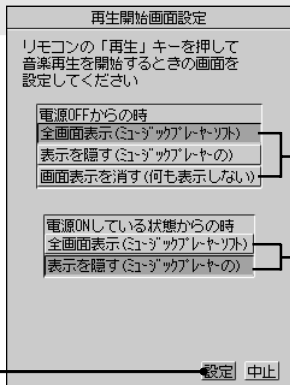
電源が「切」の状態、別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)の再生ボタンを押したときに、最初に表示される画面を設定します。

- 1** 操作メニューキーを押し、設定を選択し、決定キーを押す



- 2** 開始画面を選択し、決定キーを押す

- 3** 再生開始画面をタッチして選び、設定にタッチする



電源が入っていない状態で、リモコン付ステレオヘッドホンのシャトルの▶||を押したときの開始画面を設定する

電源が入っている状態で、リモコン付ステレオヘッドホンのシャトルの▶||を押したときの開始画面を設定する



曲やタイトルを編集する

曲順の入れ替え、曲の削除、タイトルの編集について説明します。

曲順を入れ替える

1

操作メニューキーを押し、曲順変更を選択し、決定キーを押す



2

曲順を変える

1 移動する曲に
タッチする



2 にタッチして
移動する

3

変更 にタッチする

曲順変更画面

曲を削除する

一曲削除と全曲削除ができます。

1

1曲だけ削除したい場合は、削除したい曲にタッチする

2

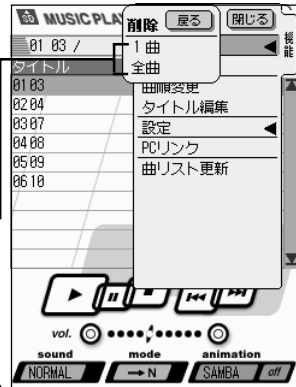
操作メニューキーを押し、削除を選択し決定キーを押す

3

1曲または全曲を選択し、決定キーを押す

4

確認のメッセージが表示されたら、はいを選択し決定キーを押す



複数の曲を削除するときは、1曲削除の操作を繰り返します。



コラム

RealJukeboxで音楽データを削除する

カードの中の音楽データはRealJukeboxでも削除することができます。

[全曲削除する]

- RealJukeboxの画面で、オーガナイザーの[デバイス/保管装置]の左側の[+]をクリック。オーガナイザーが表示されていない場合は、[表示]メニュー-[オーガナイザー]をクリックしてチェックマークを付ける
- [SHARPザウルス(MP3プレーヤー)]をクリックする
- 画面右側の[設定]をクリックする
設定画面が表示される
- パソコンに装着のフラッシュメモリーカードのデータ消去またはザウルスに装着のフラッシュメモリーカードのデータ消去をクリックする
- はいをクリックする
SDメモリーカードなどの中のMP3ファイルが消去される
MP3ファイル以外は削除されません。

[1曲ずつ削除する]

- [全曲削除する]の手順 ① ~ ② を行う
- 削除したいMP3データが入っているカードのアイコンをクリックする
- 削除したいMP3データを選択してクリックする
- Deleteキーを押す



タイトルを編集する

タイトル(曲名)、アーティスト名、アルバム名、ジャンルを変更できます。



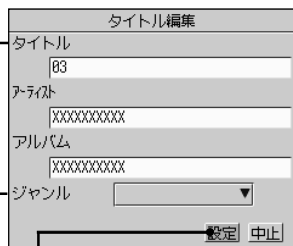
1

操作メニューキーを押し、**タイトル編集**を選択し、**決定**キーを押す



2

タイトル(曲名)、アーティスト・アルバムを変えたり、メニューからジャンルを変更する



3

設定 にタッチする



いろいろな設定

早送り、巻戻しの設定や、音量の段階の調整などを設定します。

曲送り/曲戻しから、早送り/巻戻しに変更する

ミュージックプレーヤー画面上的の / と、右や左の の動作および別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)の (戻し) や (送り) のシャトルの動作を、曲送り/曲戻しから早送り/巻戻しに変更することができます。

1 **操作メニュー** キーを押し、**設定** を選択し、**決定** キーを押す

2 **早送り巻戻し** を選択し、**決定** キーを押す

3 タッチして **曲送り曲戻し** または **早送り巻戻し** を選ぶ

曲送り曲戻し

曲単位で送られたり戻ったりします。

早送り巻戻し

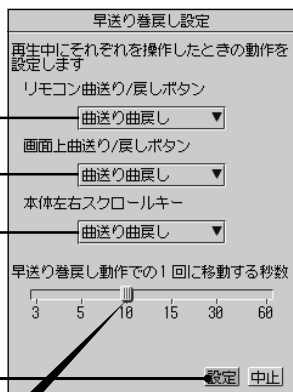
再生中にその曲について早送りや巻戻しができます。ただし、早聴きはできません。

早送り巻戻し を選択したときは、早送り/巻戻しの1回の操作で送られる(または巻戻される)秒数を、つまみを動かして設定します。

早送り巻戻し設定画面

4 **設定** にタッチする

ここにタッチしたまま左右に動かして早送り/巻戻し秒数を設定します。



音量の段階を調整する

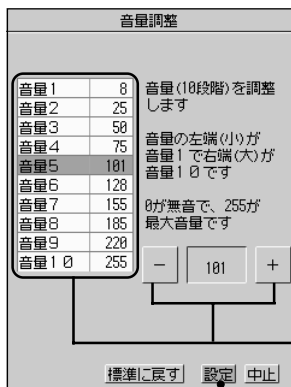
ミュージックプレーヤーでは、再生時の音量は10段階に調節できますが、「音量調整」設定により、それぞれの段階の音量を自由に設定することができます。音量1～音量10はミュージックプレーヤー画面上の音量の目盛りに対応しています。

1

操作メニュー キーを押し、設定 を
選択し、決定 キーを押し

2

音量調整 を選択し、決定
キーを押し



3

上下の⊕で「音量1」から「音量10」
までの中で調節したい音量を選択し、
左右の⊖で0～255の数字を設定する

ペンタッチ 調節したい音量にタッチし、
- + にタッチして音量を設定

音量調整画面

4

決定 キーを押し



「0」は無音、「255」は最大音量です。「標準に戻す」にタッチすると、初期値の設定に戻ります。

その他の設定

再生を停止したとき、その後で再び再生を行ったときの開始位置を設定できます。曲の先頭または停止した箇所から再生を開始することができます。

1

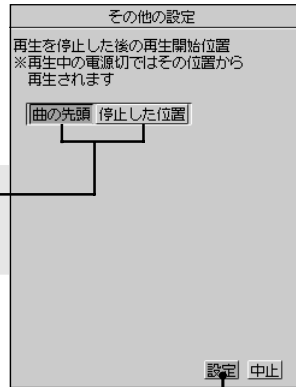
操作メニュー キーを押し、設定
を選択し、決定 キーを押す

2

その他 を選択し、決定 キーを
押す

3

開始位置にタッチして設定する



その他の設定画面

4

設定 にタッチする



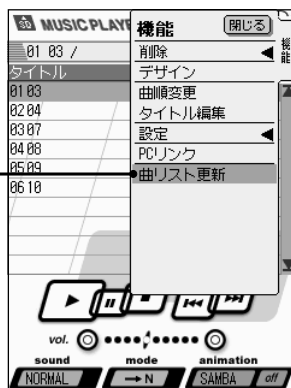
曲リストを更新する

ミュージックプレーヤー画面の曲リストの更新を行います。

曲リストの更新とは、カードに入っている音楽データと曲リストとの間で、情報の整合性を保つための処理です。曲リストは自動的に更新されますので、通常この操作を行う必要はありません。しかし、誤ってパソコンデータから音楽データを削除してしまったときなどは、実際の音楽データの情報と曲リストが一致しなくなります。そのようなときは、次の操作をしてください。

1

操作メニュー キーを押し、
曲リスト更新 を選択し、**決定**
 キーを押す
 曲リストが更新される



パソコンからこの製品に装着したカードに転送する

音楽データ(MP3ファイル)を直接この製品に装着したカードに転送します。

はじめに・・・

パソコンからこの製品(MI-E1)に装着したカードに転送する前に確認してください。

ザウルスパワーコネクションやPowerPIMM、FAX受信ソフトなど、パソコン側で通信ポートを占有するソフトの「接続待機状態」や「自動通信状態」を解除し、すべて終了させましたか？

この製品の充電電池は消耗していませんか？

消耗している場合は充電電池を充電してください。

転送先のカードは、この製品の「ユーザー設定」の「カード設定」で設定されているカードです。転送したいカードと設定が合っているかご確認ください。



注意

パソコン連携ソフト(ザウルスパワーコネクション)などを使って、MP3ファイルをカードに転送することはできません。必ずRealJukeboxを使って転送してください。

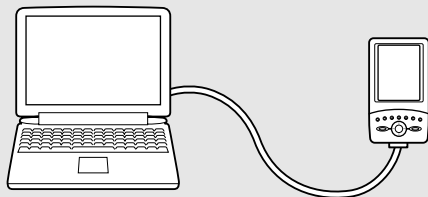


1

パソコンとこの製品をパソコン接続ケーブルなどで接続する

接続のしかたは、パソコン接続ケーブルなどの取扱説明書をご覧ください。

光通信の場合は、パソコンの光通信を使用可能にし、パソコンとMI-E1の光通信ポートがまっすぐ向き合うように設置します(距離20cm以下)。くわしくは、「光 赤外線 通信を利用する」(⇒122ページ)をご覧ください。



2

この製品の電源を切り、カードを装着する

3

デスクトップ上の[RealJukebox]アイコンをダブルクリックして、RealJukeboxを起動する

4

[ツール]メニュー - [環境設定] をクリックする
[デバイス/記録装置] タブをクリックし、[SHARPザウルス(MP3プレーヤー)] を選択し、**設定** をクリックする

5 通信条件を設定する

① [MP3 96Kbps]になっていることを確認する

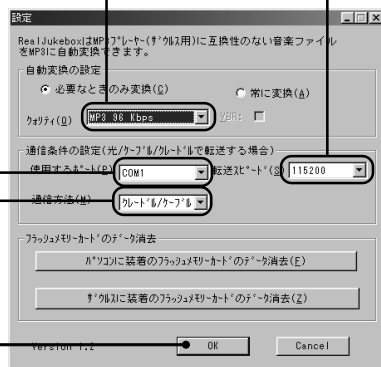
② 通信に使用するポートを設定する
パソコン接続ケーブルの場合、通常は[COM1]を選択します。
USB接続ケーブルの場合は、お使いのパソコンによって異なります。
[コントロールパネル]-[システム]-[デバイスマネージャ]タブの[ポート(COM/LPT)]の欄の中の、「CE-175TU Ver 1.0」の右横に、該当のCOMポート番号が表示されています。
光(赤外線)通信を使用する場合は122ページをご覧ください。

③ ケーブル通信を使う場合は、[クレードル/ケーブル]を、光(赤外線)通信を使う場合は、[光通信]を選択する

⑤ [OK]をクリックする

⑥ [環境設定]画面の右下の[OK]をクリックする

④ ケーブル通信の場合、音楽データの転送速度を設定する
通常は[115200]のままでお使いください。



パソコンの設定画面

6 この製品の電源を入れ、ミュージックプレーヤー一覧画面を表示する

⑦ [操作メニュー]キーを押し、[PCリンク]を選択し、[決定]キーを押し
パソコンリンク画面が表示される

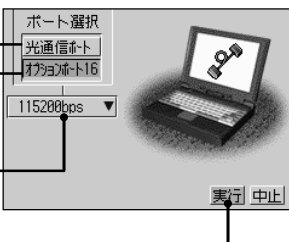


パソコンリンク画面

① 接続方法をタッチして選択する

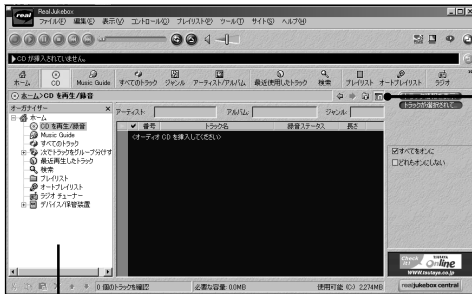
② 手順5の④で設定の転送速度を選択する

③ [実行]にタッチする



8

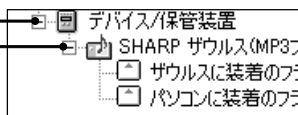
RealJukeboxの画面で
音楽データの転送先(カード)を表示する



オーガナイザー

- 1 (オーガナイザーを表示)をクリックし、オーガナイザーを表示する
(もう一度クリックすると表示が消える)
[表示]メニュー-[オーガナイザー]をクリックしてチェックを付けても表示される

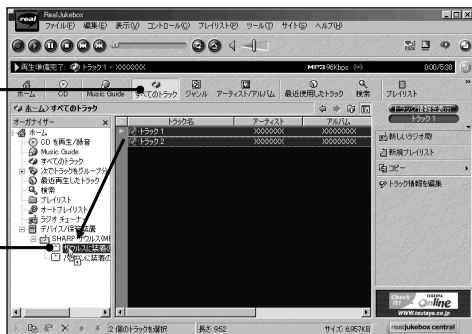
- 2 オーガナイザー表示の「デバイス/保管装置」の左側の をクリックする
次に「SHARP ザウルス (MP3 プレーヤー)」の左側の をクリックする



9

転送したい曲(音楽データ:MP3 ファイル)を表示し、転送する曲を選択して転送先へコピーする

- 1 (すべてのトラック) をクリックする
- 2 転送したい曲を選び(複数選択可) [SHARP ザウルス (MP3 プレーヤー)] の下にある [ザウルスに装着のフラッシュメモリーカード] にドラッグアンドドロップする
- 3 [ザウルスに装着のフラッシュメモリーカード] をクリックする



パソコンからこの製品に装着したカードに転送する



- 4 **転送開始** をクリックする
音楽データ(MP3 ファイル)が
カードに転送され、転送が終了す
ると **転送ステータス** が **プレー
ヤ上**] になる

中央の欄にドラッグアンドドロップした曲
が表示され **転送ステータス** が **転送準備
完了**] になっていることを確認する



音楽著作権保護情報が記録されていないカードにMP3ファイルを転送しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

この場合は、この製品の電源を切ってカードを取り出し、69ページの手順に従ってカードに音楽著作権保護情報を記録してください。

「転送開始」の実行時にエラーメッセージが表示されたときは、パソコンリンクが中断していないか、ケーブルが外れていないかを確認してからパソコンリンクを実行し、ケーブル通信のときはRealJukeboxの[表示]メニュー-[更新]をクリックしてください。この方法で転送できないときや、光通信のときはRealJukeboxを再起動してください。



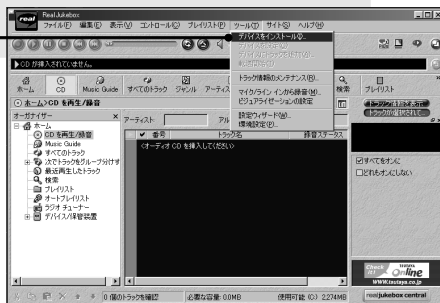
RealJukebox 2 BasicまたはRealJukebox 2 Plusをお持ちの場合

ザウルスプラグインの組み込み方を説明をします。

ザウルスプラグイン for RealJukeboxをパソコンにインストールした後、(64 ページ) 以下の手順でRealJukeboxに組み込みます。

1 RealJukeboxを起動する

2 [ツール]メニュー - [デバイスをインストール] をクリックする

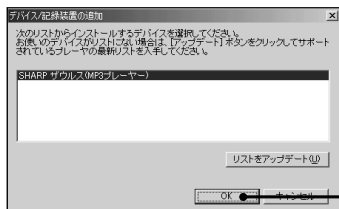


3 デバイスをインストールする



1 [追加] をクリックする

2 [デバイス / 記録装置の追加] 画面で SHARP ザウルス (MP3 プレーヤー) が選択されていることを確認し、[OK] をクリックする



- 3 [デフォルトの録音フォーマット 画面が表示されたら、デフォルトの録音フォーマットを確認し **OK** をクリックする

[インストールされているデバイス] 欄に [SHARP ザウルス(MP3 プレーヤー)] が追加されます。



- 4 **OK** をクリックする



インターネットから音楽データを取り込む

好きな音楽配信サイトから音楽をダウンロードします。

はじめに・・・

インターネットから音楽データを取り込む前に確認してください。

パソコンはインターネットに接続できるようになっていますか？

Sharp Space Townなどのインターネット接続サービス(プロバイダー)と契約して必要な設定を行い、インターネットに接続できる準備を整えてください。

学校や職場などのネットワークでパソコンをお使いの場合、ネットワークの管理設定(ファイアウォールなどの設定)によっては、音楽配信サイトに接続できない場合があります。

インターネットに接続できないときには、[ツール]メニュー-[環境設定]をクリックし、[インターネット]タブでHTTPプロキシを使用する[]をチェックします。

[設定]をクリックして、[Webプロキシ設定]の内容を設定し直してみてください。そのほかの制限や情報などについてくわしくは、RealJukeboxのヘルプやオンラインマニュアルをご覧ください。



1

RealJukeboxを起動する

2



Music Guide をクリックする

[Music Guide]画面が表示される
表示されるまでに少し時間がかかる
ことがある

3

好みの音楽配信サイトを
クリックし、音楽データ
をダウンロードする

音楽配信サイトを選んだり、[ダウンロード]をクリックしたりするとインターネットに接続を開始します。

ダウンロードが完了すると、自動的に再生が始まります。

途中で止めるには、(停止)をクリックします。

インターネットからダウンロードしたMP3ファイルは、再生できないなどの制限が生じる場合があります。

[すべてのトラック]をクリックすると、RealJukeboxで管理している曲の一覧を確認できます。

ダウンロードした音楽データ(MP3ファイル)は通常、Cドライブの「My Music」フォルダに保存されます。

パソコンで音楽を楽しむ

パソコンにインストールした RealJukebox で音楽を再生します。

はじめに・・・


パソコンにインストールしたRealJukebox 2 Basicは、多機能な音楽録音・編集・再生ソフトです。


ここでは例として、この製品で音楽を聞くために録音したMP3ファイルの再生のしかたについて紹介します。

このほかの機能についての詳細な説明は、RealJukeboxのヘルプまたはオンラインマニュアルをご覧ください。オンラインマニュアルを見るには、[スタート]-[プログラム]-[Real]-[RealJukebox]-[RealJukebox Plusオンラインマニュアル]をクリックします(Adobe Acrobat Readerが必要です。また、オンラインマニュアルの内容はRealJukebox 1 Plus版に基づいた内容になっているため、付属のRealJukeboxではご利用いただけない機能についても記載されています)。







1 RealJukeboxを起動する

2  をクリックする

3 再生したい曲をダブルクリックするか、曲を選んで  ボタンをクリックする

4 つまみをドラッグして音量を調整する



-  ----- 途中で再生を止める
-  ----- 一時停止する
-  ----- 再生する/再開する
-  ----- 曲をとび越す(戻る) (進む)

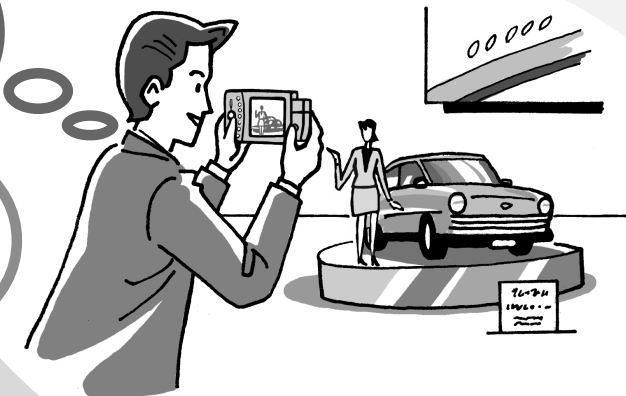


デジタルカメラ

これがデジタルカメラ

撮りたいものに合
わせて4つの撮影モ
ードから選択できる

自動(フルオート)
撮影モード
人物撮影モード
風景撮影モード
連写モード



メールといっしょに
画像を送れる



顔写真付きの
アドレス帳を作れる



オープニングに
画像を使える



さっそくデジタルカメラを使おう！

準備

この製品に別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)を取り付ける

109ページ

撮る

1 デジタルカメラ画面を表示する

111ページ

2 「画像」、「画質」、「撮影モード」を設定する

111ページ

3 被写体の画像が最適になるよう調整する

112ページ

4 撮影する

112ページ

見る

撮影した画像をフォトメモリーで表示する

117ページ

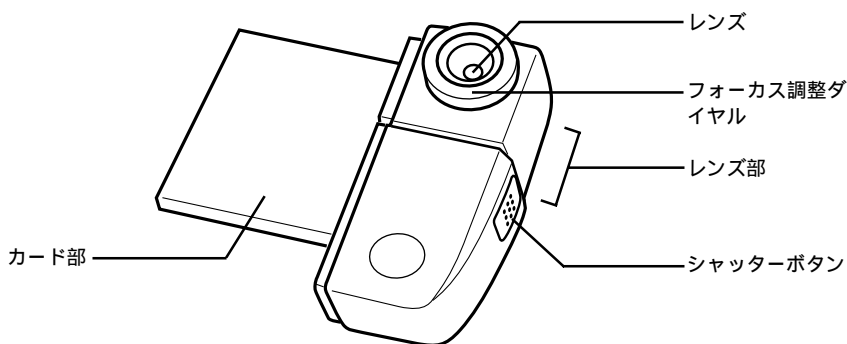


準備

各部のなまえ

デジタルカメラカード(CE-AG06)の各部の名前を説明します。

デジタルカメラの機能を使うには、別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)が必要です。別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)の取り扱いについては、デジタルカメラカード(CE-AG06)に同梱の取扱説明書をご覧ください。



準備

デジタルカメラカードの取り付け / 取り外し

インターネットスロットへデジタルカメラカードを取り付け / 取り外します。

デジタルカメラカードを取り付ける

1

戻る(電源)キーをしばらく押して、この製品の電源を必ず切る

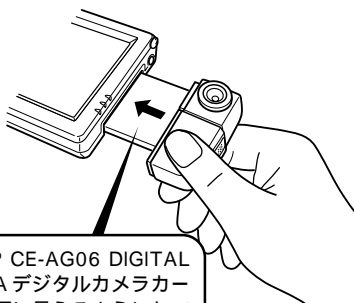


2

この製品のインターネットスロットにすでにカードが入っているときは、カードを抜き取るインターネットスロットからカードを抜き取る方法については、『取扱説明書(基本編)』の「カード」の章(☞268ページ)をご覧ください。

3

インターネットスロットにデジタルカメラカード(CE-AG06)を奥までまっすぐに差し込む



「SHARP CE-AG06 DIGITAL CAMERA デジタルカメラカード」が表面に見えるようにして差し込みます。

注意

デジタルカメラカードをこの製品に装着したまま、デジタルカメラカードのみや、この製品のみを持って移動したり、振り回したりしないでください。デジタルカメラカードが外れてこの製品やデジタルカメラカードが落ちて破損する原因となります。

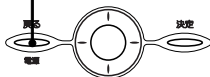
デジタルカメラカードをこの製品に取り付けているときは、デジタルカメラカードを強く押ししたり引いたりしないでください。この製品やデジタルカメラカードが破損することがあります。



デジタルカメラカードを取り外す

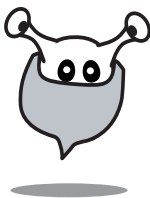
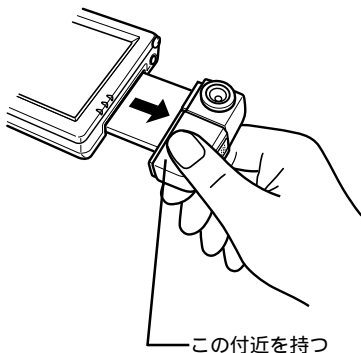
1

戻る(電源)キーをしばらく押して、
この製品の電源を必ず切る



2

デジタルカメラカードを
まっすぐに引いて取り外す



取り外しは、上図のようにデジタルカメラカードの中央部を持って行ってください。レンズ部を引いて取り外すと、レンズ部が折れるなど破損や故障の原因となります。

デジタルカメラカードの取り付け/取り外しのときは、必ずこの製品の電源を切ってください。電源を入れたままデジタルカメラカードを取り外すと、次に取り付けたとき、デジタルカメラカードを認識しないことがあります。認識しなくなった場合は、リセット操作を行ってください。リセット操作については、『取扱説明書(基本編)』(p.325ページ)をご覧ください。デジタルカメラカードを使用しないときは、本体から取り外しておいてください。

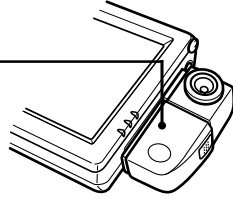
撮る

デジタルカメラで撮影する

デジタルカメラカードを使って、撮影します。

1

デジタルカメラカードを取り付ける



2

電源を入れ、**ホームインデックス** キーを数回押す



3

カメラ アイコンにタッチする

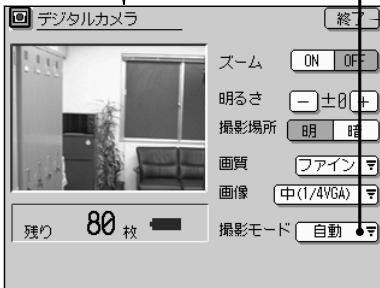


ホームインデックス1画面

4

「撮影モード」の右欄にタッチし、撮影モードを選択する
設定については、115ページをご覧ください。

デジタルカメラ機能の画面は横表示です。



デジタルカメラ画面

デジタルカメラモードを終了し、フォトメモリーの画面に切り替えます。

撮影モードには

- ・自動 (フルオート) 撮影モード
- ・人物撮影モード
- ・風景撮影モード
- ・連写モード

があります。各撮影モードについては115ページをご覧ください。

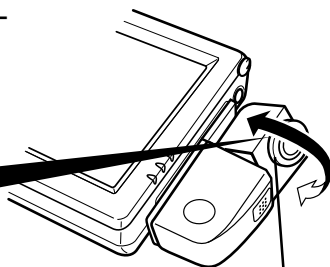


5

フォーカス調整ダイヤルなどを使って、被写体の画像が最適になるように調整する

- ① レンズ部を回転させて被写体をファインダーに表示する

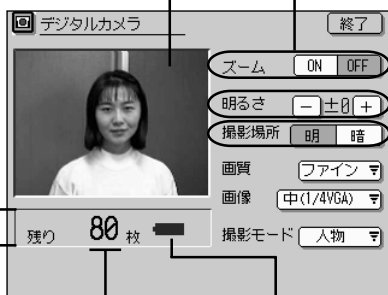
レンズ部
矢印の向きに回転させてください。
レンズ部は回転範囲を越えて回さない
てください(くわしくはCE-AG06
の取扱説明書をご覧ください)



フォーカス調整ダイヤル

- ② フォーカス調整ダイヤルを回し、焦点を合わせる

ファインダー



- ③ **ON** または **OFF** にタッチしてズーム (ON/OFF) を切り替える


- ④ **+** または **-** にタッチして明るさ (**+** / **-**) を調整する

- ⑤ **明** または **暗** にタッチして撮影場所 (明/暗) を切り替える

撮影できる枚数

現在の撮影状態が表示される

充電機残量表示



ACアダプター使用時は  になる

6

シャッターボタンを押して撮影する
撮影した画像がフォトメモリーに保存される



撮影するときのキー操作


ズームを切り替える	上下の 
明るさを切り替える	左右の 
撮影する	(決定) キー
全画面表示にする	(逆送り) キー
全画面表示からデジタルカメラ画面に戻る	(戻る) キー、 (順送り) キー、 (操作メニュー) キー、 (中断) キー
デジタルカメラ画面からフォトメモリーに移る ...	(戻る) キー



撮影した画像は

- 画質を「ファイン」、「ノーマル」に設定して撮影すると、撮影した画像はフォトメモリーにJPEG形式(最大約65000色)で保存されます。
- JPEG形式で保存されたデータを表示するときには、手順5で表示されている画像よりも少しきめが粗くなります。あらかじめご了承ください。

フォーカス調整ダイヤルについて

- 接写撮影(約6cm)では、ダイヤルを右(時計回りの方向)に回しきって  のマークがついている側で撮影します。
- 6cm～無限遠の距離では、ダイヤルを回転させて調整します。

「ズーム」について(ズーム **ON** **OFF**)

「ズームON(2倍)」と「ズームOFF(等倍)」に切り替えることができます。「ズームON(2倍)」では、画面の中央部を中心に2倍に拡大されます。「ズーム」では、光学的に2倍にするのではなく、この製品のソフトウェアの処理により画像を2倍に拡大します。画像サイズが大(VGA)のとき、「ズームON」に切り替えることはできません。

「明るさ」について(明るさ **-** **±** **+**)

画面の「明るさ」右の **+** にタッチし、+1、+2と増やしていくと、露光を増やし画面を明るくします。逆に「明るさ」右の **-** にタッチし、-1、-2と減らしていくと、露光を減らし画面を暗くします(+側9段階、-側9段階)。

シャッター音を鳴らす/鳴らさない

(操作メニュー) キーを押し、**(シャッター音)** を選択し **(決定)** キーを押し、**(シャッター音ON)** または **(シャッター音OFF)** を選択し **(決定)** キーを押して切り替えます。

撮影するときには

- 薄暗い場所など光量の不足している場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、手ブレが起きないように、しっかり持って撮影してください。
- 撮影時レンズを指などでふさがないようにしてください。また、「撮影場所」で「暗」が選択されているときは、手ぶれが起りやすくなります。シャッターボタンを押すときは、本体を動かさないようにしてください。
- 画像登録中は撮影できません。





ファインダーを全画面表示にするには

(逆送り) キーを押すか、(操作メニュー) キーを押した後、**全画面表示へ** を選択し(決定) キーを押すと、全画面表示になります。もとに戻すには、(戻る) キーまたは(順送り) キー、(中断) キー、(操作メニュー) キーを押します。全画面表示にすると、フォーカス調整がしやすくなります。

残り撮影可能枚数について

- ・被写体によって画像データのサイズは異なります。また、残り撮影可能枚数はメモリーの空き容量から、最大サイズの画像が撮影されることを想定して計算しています。このため、データサイズが小さい被写体の場合には、撮影後に撮影できる残り枚数が減らないことがあります。
- ・デジタルカメラカードで撮影する前に、入力・修正途中のデータ登録または中止してください。入力・修正途中のデータがあるときにデジタルカメラモードのオン/オフを繰り返すと、メモリー使用量のグラフのグレーの部分が増えるため、撮影できる残り枚数が減ります。
- ・デジタルカメラカードを使って撮影していてメモリーが足りなくなったときに、撮影済みの不要なデータを削除しても、撮影できる残り枚数は増えません。削除した後、必ず「メモリー整理」を実行してください。

自分自身を撮影するときには

レンズ部を自分の方向へ向けて、自分自身を撮影できます。本体を縦に持って自分自身にレンズ部を向けると、上下が逆になります。このようなときは(操作メニュー) キーを押し、**対面撮影設定**、(決定) キー、**左右反転**、(決定) キーと操作して上下が逆にならないようにすることができます。ただし、左右は鏡に映したときのように逆になります。

画面が見にくい場合は、本体を縦に持って調整してみてください。

SDメモリーカードに画像データを登録するには

(操作メニュー) キーを押し、**保存先**、(決定) キー、**カード**、(決定) キーと操作します。このときユーザー設定のカード設定で使用するメモリーカードとして**SDメモリーカード**に設定しておいてください(『取扱説明書(基本編)』251ページ)。

CE-AG06は非常に精密度の高い技術で作られておりますが、常時明るい色の点に見える画素や黒く見える画素もありますので、あらかじめご了承ください。



ホームインデックス1画面で**カメラ**アイコンにタッチしてからデジタルカメラモードに変わるまで、数秒かかります。操作メニューを開いている間は、ファインダーに表示されている画像は止まります。

撮影する状態を設定する

画面の説明



① 撮影モード

撮影モードを切り替えます。

- ・ **自動** …… 被写体に合わせて最適な撮影をするときに使う
- ・ **人物** …… 人物を中心に撮影するときに使う
- ・ **風景** …… 風景を撮影するときに使う
- ・ **連写** …… 連写(簡易動画)するときに使う

連写を選択すると、その下の自動連写/手動連写、分割数を指定できます。

自動連写/手動連写

シャッターボタンや **(決定)** キー押したときの連写方式を設定します(連写撮影モードのみ)。

自動連写 …… 一度シャッターボタンや **(決定)** キーを押すと、約0.3~0.5秒間隔で自動的に撮影される(この間隔は、「画像」で選択した写真の大きさと分割枚数の条件によって異なる)

手動連写 …… 手動で1枚ずつシャッターボタンまたは **(決定)** キーを押す。連写を中断するには、**(戻る)** キーを押す。連写が途中で終了しデータが登録される

4分割 / 16分割 / 64分割

1枚の写真を何枚に分割して連写するかを設定します(連写撮影モードのみ)。

4分割 …… 「画像」で選択した画像サイズを4分割して4枚分の画像を保存する

16分割 …… 「画像」で選択した画像サイズを16分割して16枚分の画像を保存する

64分割 …… 「画像」で選択した画像サイズを64分割して64枚分の画像を保存する

	大	中	小
4分割	320×240	160×120	80×60
16分割	160×120	80×60	不可*
64分割	80×60	不可*	不可*

* 選択不可能な設定です。



② 終了

デジタルカメラモードを終了し、フォトメモリーの一覧画面に移ります。

③ ズーム

デジタルズーム(2倍)のON/OFFを切り替えます(⇒113ページ)。

ON ... デジタルズームを使う(2倍)

OFF ... デジタルズームを使わない(等倍)

「ズームON(2倍)では、画面の中央部を中心に2倍に拡大されます。「ズーム」では、光学的に2倍にするのではなく、この製品のソフトウェアの処理により画像を2倍に拡大します。

④ 明るさ

露光を増減し、明るくしたり暗くします(-側9段階、+側9段階)。

+ 画面を明るくする(9段階)

- 画面を暗くする(9段階)

⑤ 撮影場所

デジタルカメラモードにしたときは、

明 になっています。通常は 明 を選択して撮影します。

ただし、 明 になっていても、画面が暗いときは、 暗 を選択します。たとえば、照明の暗い部屋や日陰などの場所では 暗 を選択します。

暗 が選択されているときは、手ぶれが起こりやすくなります。シャッターボタンを押すときは、本体を動かさないようにしてください。

⑥ 画質

撮影する写真の画質を設定します。

ファイン 画質は良いが、撮影枚数が減る

ノーマル 画質はやや落ちるが、撮影枚数は増える

⑦ 画像

撮影する写真の大きさを設定します。

中(1/4VGA) 320×240ドットの大きさで撮影

大(VGA) 640×480ドットの大きさで撮影

小(1/16VGA) 160×120ドットの大きさで撮影



見る

撮影した画像を見る

撮影した画像をフォトメモリーで見ます。

1

ホームインデックス キーを押す



2

ホームインデックスキーを押して表示された画面で、**フォトメモリー** アイコンを選択し、**決定** キーを押す



ホームインデックス1画面

3

ホームインデックス画面で表示された**フォトメモリー** アイコンを選択し、**決定** キーを押す



明るさ・あざやかさなどの調整は

画像の明るさ、あざやかさ、カラーバランスを調整できます(『取扱説明書(基本編)』の「フォトメモリー」の章)。

画像を修正・削除するには

フォトメモリーのデータと同じように修正・削除します(『取扱説明書(基本編)』の「フォトメモリー」の章)。

画面表示サイズより大きな画像を見るには

画面表示サイズより大きな画像データをフォトメモリーで表示するときは、画面をスクロールさせて表示します。ホームインデックスキーを押すと、画面がスクロールします。



活用

撮影した写真を活用する

写真付きのアドレス帳を作成したり、メールに添付したり、オープニング画面に使用したりできます。

顔写真付きのアドレス帳を作る

1

ホームインデックス キーを数回押す



2

ホームインデックスキーを使ってアドレス帳アイコンを選択し、決定キーを押す



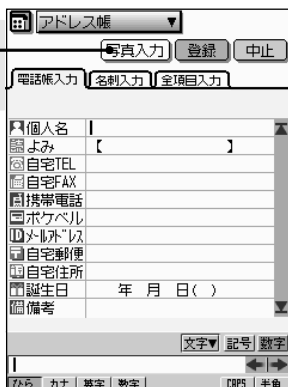
3

機能キーを押した後、新規作成キーを押す

ペンタッチ 新規作成 にタッチ

4

写真入力 にタッチする



5

デジタルカメラカードのレンズ部を回転させて、被写体の方に向け、フォーカス調整ダイヤルなどを操作して画像を調整する



6

シャッターボタンまたは **決定** キーを押し、登録する

7

詳細表示画面で **機能** キーを押した後、**M**(修正) キーを押し、個人名などを入力し登録する
個人名にば「未登録」を削除してから入力する



フォトメモリーから写真を貼り込むには
フォトメモリーに登録されている画像データをアドレス帳に貼り込むこともできます。くわしくは、『取扱説明書(基本編)』(P.133ページ)をご覧ください。

写真入力画面では
連写はできません。また、残り枚数が表示されません。

顔写真の入力とデータの登録は
顔写真の画像サイズは80×60ドットです。登録されたデータは個人名に「未登録」が表示され、インデックスの「他」に分類されます。

所有者情報に顔写真を付けるには
所有者情報画面で「写真入力」にタッチした後、手順5～6を操作します。この後、所有者情報を入力し**機能**キーを押した後**入力**(登録)キーを押して登録します。



メールに画像を添付して送る

1 写真を撮影した後、フォトメモリーの一覧画面を表示する

2 を使って、添付するデータを選択する

3 添付するメールを新しく作り、送信する

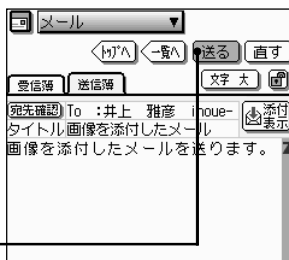
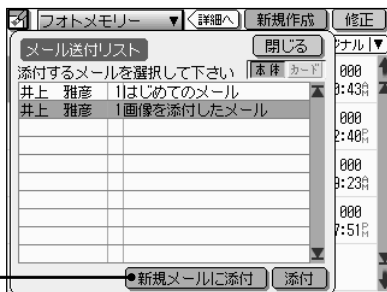


1 **操作メニュー** キーを押し、**通信** タブ、**メールに添付...** を選択し、**決定** キーを押す

2 **機能** キーを押した後 **(N)** (新規作成) キーを押す

3 宛先、タイトル、本文を入力し **機能** キーを押した後 **(入)** (登録) キーを押す

4 **機能** キーを押した後 **決定** キーを押してメールを送る



メールのくわしい操作については『取扱説明書(通信ガイド)』の「メール(1)」、「メール(2)」の章をご覧ください。

画像をオープニング画面に使う

撮影した画像をこの製品の電源を入れたときの画面に表示させることができます。あなただけのザウルスに楽しくカスタマイズできます。くわしくは、『取扱説明書(基本編)』(☞183ページ)をご覧ください。



付 録

光(赤外線)通信を利用する

光通信(IrDA)について

この製品は、IrDA方式の光(赤外線)通信に対応しています。ノートパソコンなど、IrDA方式に対応した赤外線通信ポートを内蔵しているパソコンと光通信により、ミュージックプレーヤーで利用する音楽データのやり取りが行えます。



この製品のIrDA方式の光通信機能はIrDA1.2に準拠しており、IrDA1.0およびIrDA1.1に対応した赤外線通信機能を持つパソコンと光通信が可能です(ただし、いずれの場合も通信速度は115kbpsになります)。

Windows Meの赤外線通信には対応していません。

ミュージックプレーヤーで使用する音楽データのやり取りに、Windows 2000 Professionalの赤外線通信は使用できません。

お客様がWindows 98にアップグレードしたパソコンでは、赤外線通信機能が正常に働かない場合があります。パソコンメーカーにお問い合わせください。

PC-9800シリーズパソコンとこの製品との通信は、ケーブルを使って行ってください。PC-9800シリーズパソコンに内蔵されている光通信ポートを使ってこの製品との光通信はできません。

Windows 98で光通信(IrDA)を利用するとき

光通信ポートを内蔵しているパソコンの場合

Windows 98では、IrDA方式の光通信機能がサポートされています。お使いのパソコンが光通信機能を使用できる状態になっているかどうか確認してください。もし使用できない状態の場合は、使用できる状態に設定してください。設定方法については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。設定方法については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

シャープノートパソコン「メビウス」を使用する場合

購入時にWindows 98がインストールされていたメビウスで、「SHARP光通信ドライバ」がすでにインストールされている場合、「SHARP光通信ドライバ」を使うことによりIrDA方式による光通信が可能になります。Windows 95からWindows 98にアップグレードしたメビウスには、「SHARP IR for Windows 98 Version 3.2」をインストールしてください。このドライバは、インターネットのホームページ「メビウスサポートステーション」(<http://www.sbc.co.jp/mebius/lib/bin/SHARPIR.asp>)からダウンロードしてお使いいただけます(2000年11月現在)。

シャープノートパソコン「メビウス」の設定

光通信ポートを使用するには、メビウスのセットアップユーティリティのAdvancedメニューで「IR Mode」を「IrDA」(あるいは「IR Type」を「IrDA1.0」または「IrDA1.1」など)に設定します(Advancedメニューで、「COM2」が光通信ポートに割り当てられていることを確認してください)。

具体的な操作は、メビウス本体の取扱説明書の中の「セットアップユーティリティ」の項目をお読みください。

SHARP IR for Windows 98 Version 3.2 の設定について

メビウスのコントロールパネルを開くと、[赤外線モード]アイコンが表示されますので、この[赤外線モード]アイコンをダブルクリックします。開いたダイアログボックスが「IrDAモード」と「ASKモード」のどちらかを選択するタイプの場合は、「IrDAモード」を選択してください。

ダイアログボックスがポート番号を指定するタイプの場合は、お使いのメビウスの取扱説明書(またはSHARP IR for Windows 98(シャープ赤外線ドライバ)Ver.3.2に付属の情報)に従って、ポート番号を指定します。

ただし、通常は、あらかじめ設定されているポート番号のまま使用できます。

Windows 95で光通信(IrDA)を利用するとき

Windows 95で光通信(赤外線通信)を利用するには、赤外線モニター(マイクロソフト社の赤外線通信ドライバ)が必要です。

IrDA対応の光通信ポート搭載パソコンをお使いの場合

マイクロソフト社製の「赤外線通信ドライバ」が必要です(Windowsのコントロールパネルの中に「赤外線モニター」アイコンがあれば、「赤外線通信ドライバ」は内蔵されています)。

マイクロソフト社製の「赤外線通信ドライバ」が内蔵されていない場合は、マイクロソフト社からドライバを入手してください。

ただし、パソコンによっては、このドライバで光通信ポートを使用できない場合があります。この場合は、光通信は利用できません。

(マイクロソフト社製の「赤外線通信ドライバ」が、お手持ちのパソコン内蔵の光通信ポートを使用できるかは、パソコンメーカーにお問い合わせください。)

シャープノートパソコン「メビウス」を使用する場合

「必要なパソコンの動作環境(☞58ページ)に記載の条件を満たすメビウスをお持ちの場合は、新規に赤外線通信ドライバを入手する必要はありません。メビウスの取扱説明書を見て、光通信機能の設定を行ってください。



マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの使いかたについては、「マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの使いかた(☞128ページ)をお読みください。

「SHARP IR for Windows 95(シャープ赤外線ドライバ)Ver.2.33」は、赤外線通信における通信ポートによるIrDA/ASKの自動切り替えをメビウスにおいて適用できるようにしたドライバです。一部のメビウスには、このドライバが工場出荷時にインストールされています。このドライバはインターネットのホームページ「メビウスサポートステーション」(<http://www.sbc.co.jp/mebius/lib/bin/SHARPIR.asp>)からダウンロードしてお使いいただけます(2000年11月現在)。

シャープノートパソコン「メビウス」の設定

光通信ポートを使用するには、たとえばお手持ちのメビウスのセットアップユーティリティのAdvancedメニューで「IR Mode」を「IrDA (あるいは「IR Type」を「IrDA1.0」または「IrDA1.1」など)に設定します(Advancedメニューで、「COM2」が光通信ポートに割り当てられていることを確認してください)。

具体的な操作は、メビウス本体の取扱説明書の「セットアップユーティリティ」の項目をお読みください。

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの入手のしかた(2000年11月現在)

IrDAタイプで光通信を行う場合、インターネットからマイクロソフト社の赤外線通信ドライバを入手してください(無償。ただし、インターネットに接続するときの料金などは別途必要となります)。

(注)URLは変更されることがあります。

インターネットからダウンロードする場合

マイクロソフト社のホームページ(<http://www.microsoft.com/japan/win95/modules/pcatnew.htm>)にアクセスして「赤外線通信ドライババージョン2.0」をダウンロードしてください。

(使用方法やインストール方法などについては、http://www.microsoft.com/japan/win95/modules/AT_IR20.htmの説明をお読みください。)

ダウンロードした「Ir2w95j.exe」は自己解凍型のファイルです。ダウンロード後、「Ir2w95j.exe」のアイコンをダブルクリックし、ファイルの展開(解凍)を行ってください。なお、展開されたファイルの中のRelnotes.docやInfrared.txtに、赤外線通信ドライババージョン2.0のインストール方法や使用方法が説明されています。ご参照ください。

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバのインストール方法

- ① [スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックする
- ② **参照**をクリックし、インストールするドライバソフトがあるフォルダを指定し、「Setup」を選び、**開く**をクリックする
オンラインサービスからダウンロードしたときは、「Ir2w95j.exe」ファイルをダブルクリックして解凍しておいてください。

- ③ **OK** をクリックして赤外線デバイスウィザードが起動したら、**次へ** をクリックする
- ④ **製造元**]が(スタンダード赤外線デバイス)を選び、**モデル**]がラップトップまたはデスクトップのビルトイン赤外線ポート]が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックする
- ⑤ **通信ポート (COM2)**]を選択し、**次へ** をクリックする
「SHARP Serial Infra-Red Port(COM2)」や「SHARP 4M Fast In-fra-Red Port (COM2)」などが表示される場合は、それらを選択してください。
- ⑥ **標準のポートを使用**]が選択されていることを確認し、**次へ** をクリックする
- ⑦ **完了** をクリックすると、赤外線通信ドライバのインストールが終了する
Windows 95のコントロールパネルを開いてください。**赤外線モニター**]アイコンが追加されています。
続いてIrDAで通信を行うための赤外線通信ドライバの設定を行ってください(☞128ページ)。

光通信ポート内蔵のパソコン(メビウス以外)を使用する場合

お使いのパソコンがどの通信方式に対応しているか、あるいはインストールされている赤外線通信ドライバがそのパソコンの光通信ポートをコントロールしているかどうかについては、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

機種によっては、内蔵光通信ポートや選択するデバイス名が異なる場合がありますので、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの入手のしかたと操作については、以下の項目の内容をお読みください。

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの入手のしかた(☞126ページ)

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの使いかた(☞128ページ)

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの終了の方法(☞129ページ)

なお、赤外線通信ドライバのインストール方法については、赤外線通信ドライバをダウンロード後、解凍(展開)されたフォルダ内のリリースノートファイル(たとえば、「Relnotes.doc」、「Infrared.txt」)をご覧ください。

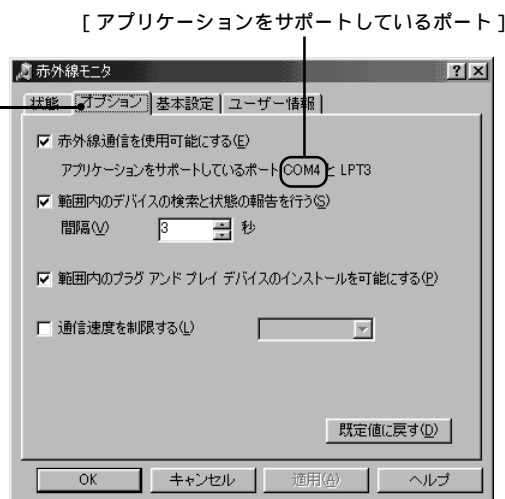
マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの使いかた

Windows 98/95 の場合

Windows 98の場合を例に光通信の方法について説明します。Windows 95の場合も操作は基本的に同じです。

- 1 Windows 98のコントロールパネルを開き、[赤外線モニタ]アイコン (Windows 95の場合は[赤外線モニター]アイコン)をダブルクリックする [赤外線モニタ]画面が表示されます。

- 2 [オプション]タブをクリックします



- 3 [赤外線通信を使用可能にする]の左側のチェックボックスをクリックしてチェックを入れる

- 4 [アプリケーションをサポートしているポート]の右横に表示されているCOMポート(たとえば、上の画面ではCOM4)が、各アプリケーションの通信設定で光通信を選択したときに指定するCOMポートになる
この通信ポートの設定がまちがっていると通信できません。

- 5 [基本設定]タブをクリックして、[基本設定]画面にする

- ⑦ **既定値に戻す** をクリックして、設定を標準にする
- ⑦ **OK** をクリックし、[赤外線モニタ]画面を閉じると、タスクバーに[赤外線モニタ]アイコンが表示される



[赤外線モニタ]アイコン
(動作中)

- ⑧ ザウルスとパソコンの光通信送受光部が互いにまっすぐ向き合うように設置して(約20cm以内) ザウルスをパソコンリンクの実行画面にする(⇒98ページ) ザウルスを検出すると、タスクバーのアイコンは次のようになります。



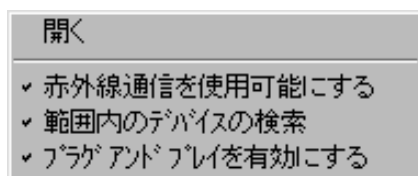
ザウルスを検出した状態
(通信可能状態)

この状態で、IrDA方式による光通信ができます。

- ⑨ パソコン側の通信設定を行う(⇒97、98ページ)
通信方法は、「光通信」を選択してください。[使用するポート]には、手順②の[アプリケーションをサポートしているポート]の右横のCOMポートを選択してください。
赤外線モニタが動作していない状態では、IrDAによる通信はできません。

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの終了の方法

- ① タスクバーの[赤外線モニタ]アイコンを右クリックする
次のメニューが表示されます。



- 2 [赤外線通信を使用可能にする] をクリックする
チェックマークが消えます。
[赤外線モニタ] アイコンは次のようになります。



[赤外線モニタ] アイコン
(動作していない状態)

赤外線モニタを起動させるには、タスクバーの[赤外線モニタ] アイコンを右クリックします。

- [赤外線通信を使用可能にする] をクリックします。
[赤外線通信を使用可能にする] の左側にチェックマークが付きます。



IrDA方式で通信を行う場合、必ず赤外線モニタを動作中の状態にしておいてください。

赤外線モニタのショートカットを作成してデスクトップに配置すると、赤外線モニタの立ち上げを簡単にすることができます。

ショートカットの作成方法については、Windows 98/Windows 95のファーストステップガイドまたは、ヘルプなどをご覧ください。

困ったときは

この章で取り上げているような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、『取扱説明書(基本編)』の「アフターサービスについて」をご覧のうえ修理を依頼してください。



ムービープレーヤー

この製品の録画予約機能でカードに予約情報を登録するとき

こんなとき	ここをお確かめください
新規予約の予約設定画面が表示されない	予約情報を収録するカードをこの製品に装着していますか？
予約設定ができない (時刻が違います)	時刻の設定が同時刻から同時刻になっていませんか？ 録画時刻を修正してください。 時刻の設定が6時間を越えていませんか？ 1回の録画時刻を6時間以内で入力してください。
予約設定ができない (日時が違います)	予約設定できる年月日は2000年1月1日から2099年12月31日までです。この範囲内かどうか確認してください。 この製品に設定している現在の時刻と比べて、予約設定の年月日および時刻が過去になっていませんか？
予約設定ができない (年月日を入力してください)	予約設定の日付の年月日が空白のところがあります。日付を修正してください。
予約設定ができない (予約No.Xと時刻が重複しています)	すでに登録している予約情報と時刻が重複しています。現在設定中の予約情報の時刻を重複しないように修正するか、もしくは、先に登録している予約情報の時刻を修正してください。
録画予約した内容が確認/修正/削除できない	予約情報を登録しているカードは正しく装着されていますか？ もう一度お確かめください。 メモリー切り替えは合っていますか？ (機能) (カード) 버튼을しばらく押して予約情報を登録しているカードに切り替えてください。

一覧表示および再生時

こんなとき	ここをお確かめください
<p>一覧表示画面に動画データのリストが表示されない</p>	<p>メモリー切り替えは合っていますか？ (機能) カード 押をしばらく押して動画データ(ASF形式のファイル)が収録されているカードに切り替えてください。 カードに動画データ(ASF形式のファイル)が収録されていますか？ 動画データ(ASF形式のファイル)がカード内の「DCMV」フォルダもしくは「_ZAUUS」フォルダに入っていますか？ お確かめください。 別売のMPEG-4ビデオレコーダーで収録した動画データ(ASF形式のファイル)は、「DCMV」フォルダに収録されています。</p>
<p>再生できない</p>	<p>カードのライトプロテクトがオンになっていませんか？ お確かめください。 カードに収録されている動画データ(ASF形式のファイル)が壊れている場合があります。再度、カードへ収録してください。</p>
<p>音声がおかしい</p>	<p>別売のMPEG-4ビデオレコーダーで収録した動画データ(ASF形式のファイル)は、音声(左)主音声 を録音します。したがって音声多重放送の場合、主音声のみの録音、ステレオ放送の場合は左チャンネルだけのモノラル録音となります。</p>
<p>音声が聞こえない</p>	<p>音量を小さくしていませんか？または、ミュート(消音)をオンしていませんか？ 音量を調節してください。 別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)または市販のステレオヘッドホン(プラグ直径:3.5mm(3.5))をこの製品のステレオヘッドホンジャックに装着していますか？</p>
<p>再生がきれいにできない</p>	<p>ムービープレイヤーの動画再生について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビのような、なめらかな再生はできません(約2~10コマ/秒) ・映像の内容(たとえば、画面の変化が激しい場面など)やご使用のメモリーカードによっては、さらに画面の動きが遅くなる場合があります。 <p>マルチメディアカード(MMC)をご使用の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディアカード(MMC)に収録した映像は、SDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードに収録した映像よりも画面の動きが遅くなる場合があります。 ・320×240ドットの場合は、ノーマルモードで収録してください。ファインモードで収録したものを再生すると、音飛びすることがあります。

こんなとき	ここをお確かめください
別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)のリモコンが効かない	<p>ムービープレーヤーは起動していますか？ リモコンでの再生/一時停止はムービープレーヤーが起動しているときに働きます。 リモコンのHOLD(誤動作防止)スイッチがオンになっていませんか？ オフにしてお使いください。</p>
再生画面でフルスクリーンモードを標準モードに戻したい	<p>(中断)キーを押してフルスクリーンモードを終了してください。</p>
ACアダプターを接続しているのに、動画データを再生していると、充電電池が充電されない	<p>コンセントの電源電圧が低い場合、フロントライトの明るさを「最大」にして動画データを再生したりすると、ACアダプターを接続していても充電電池が消耗することがあります。このような場合には、フロントライトの明るさを下げてください。</p>

ミュージックプレーヤー

RealJukebox を使ってCDの曲をMP3形式で録音するとき

以下の説明のほかに、RealJukeboxのReadMeもお読みください。[スタート]-[プログラム]-[Real]-[RealJukebox]-[RealJukebox ReadMe]から参照することができます。また、RealJukeboxのヘルプの[一般情報]-[トラブルシューティング]の説明もきっとお役に立ちます。

こんなとき	ここをお確かめください
パソコンのCD-ROMドライブが音楽用CDを認識しない	<p>お使いのパソコンのCD-ROMドライブおよびドライバは、音楽CDを認識できないタイプである可能性があります。パソコンメーカーにお確かめください(⇒58ページの「必要なパソコンの動作環境」)。</p> <p>録音時、RealJukeboxから「RealJukeboxは、CDを録音できませんでした...」とのメッセージが表示されたときには、RealJukeboxの環境設定が合っていない可能性があります。RealJukeboxの[ツール]メニュー -[環境設定]-[録音]タブで <u>CDドライブオプション</u> をクリックして、設定を変えてみてください。[標準]の設定で認識しない場合には、[その他の種類]を選び、右横のボックスからお使いのCD-ROMのタイプを選択します。どれを選んでよいのかわからなければ、ひとつずつ試してみるとよいでしょう。</p>
CDからデジタル録音できない	<p>RealJukeboxから、デジタル録音ができないのでアナログモードで録音する旨のメッセージが表示されたときには、RealJukeboxの環境設定が合っていない可能性があります。RealJukeboxの[ツール]メニュー -[環境設定]-[録音]タブで <u>CDドライブオプション</u> をクリックして、設定を変えてみてください。[標準]の設定で発生する場合には、[その他の種類]を選び、右横のボックスからお使いのCD-ROMのタイプを選択します。どれを選んでよいのかわからなければ、ひとつずつ試してみるとよいでしょう。</p> <p>また、[録音]タブで[録音方法]を[デジタル]にします。</p>

こんなとき	ここをお確かめください
MP3で録音したデータが音飛びする	<p>RealJukeboxを使ってCDからMP3形式で録音したデータを再生すると音飛びが認められる場合は、次のことに留意して、再度録音してみてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス検索ソフト、スケジューラなど指定時刻に起動するソフト、スクリーンセーバー、一定時間ごとに自動的に動作するソフトなどを終了させてください。 ・ノートパソコンの場合、省電力機能を無効にしてください。 ・録音中は、ほかの操作はしないでください。 ・[ツール]メニュー -[環境設定]-[録音]タブで[録音方法]の[エラー修正を使用する]のチェックを有効にすると、音飛びが改善されることがあります(録音速度は遅くなります)。 <p>58ページで説明のパソコン動作環境で録音していますか？特にCPUの性能が低いと、音飛びが発生する率が高くなります。</p>



ザウルスプラグイン for RealJukebox を使ってMP3 データをカードに転送するとき

こんなとき	ここをお確かめください
ザウルスプラグインを使って曲(MP3ファイル)をカードに転送できない	<p>音楽著作権保護情報が書き込まれているカードを使っていますか(著作権保護情報がない、ファイルが転送できませんでした、などのメッセージが表示される場合)？</p> <p>音楽データ(MP3ファイル)を転送するカードは、前もってこの製品のミュージックプレーヤー機能を使って音楽著作権保護情報を書き込んでおく必要があります(☞69ページ)。</p> <p>転送する音楽データのサイズがカードの容量を超えていると転送できません。</p> <p>カードの容量に合わせて音楽データを転送してください(☞73ページ)。</p>

こんなとき	ここをお確かめください
<p>通信エラーとなってMI-E1側のカードに転送できない</p>	<p>通信ポートを占有しているアプリケーションソフトが実行されていませんか(通信ポートがオープンできない、通信ができない、などのメッセージが表示される場合)?</p> <p>たとえば、ザウルスパワーコネクションやPowerPIMMなどを使用されていて、「接続待機状態」や「自動通信状態」になっている場合や、MOREソフトダウンローダーでMOREソフトをこの製品にダウンロード中である場合は、それらの状態を解除してから、再度転送を実行してください。</p> <p>MI-E1側とパソコン側の転送スピードの設定を順次下げお試してください(☞98ページ)。</p> <p>MI-E1にカードが装着されていますが(デバイスの準備ができていない、指定した保管場所に入らない、などのメッセージが表示される場合)?</p> <p>カードを装着して、ケーブル通信のときはPCリンクを再度実行し、RealJukeboxの「表示」メニュー-[更新]を行ってください。それでも転送できないときや、光通信の場合は、RealJukeboxを再起動してください。</p> <p>PCリンクが実行されていますが(デバイスの準備ができていない、指定した保管場所に入らない、などのメッセージが表示される場合)?</p> <p>PCリンクを実行して、ケーブル通信のときは、RealJukeboxの「表示」メニュー-[更新]を行ってください。それでも転送できないときや、光通信の場合は、RealJukeboxを再起動してください。</p> <p>通信条件が、MI-E1側とパソコン側で一致していますが(通信ポートがオープンできない、通信ができない、などのメッセージが表示される場合)?</p> <p>MI-E1側パソコンリンク画面の接続方法、転送スピード、RealJukeboxの「設定」画面[ツール]メニュー-[環境設定]-[デバイス/記録装置]タブでSHARPザウルス(MP3プレーヤー)を選択し「設定」をクリックの転送スピード、通信方法などを確認してください。USB接続ケーブルCE-175TUをお使いのときは、「クレードル/ケーブル」を選択してください(☞98ページ)。</p> <p>正しく接続されていますか?</p> <p>ケーブルが抜けかけていませんか?</p> <p>光通信の場合、パソコンの「設定」画面で「使用するポート」の設定を正しく行わないと光通信ができません。(☞98ページ)</p>

こんなとき	ここをお確かめください
<p>パソコンに装着したカードに転送できない</p>	<p>パソコンにカードが装着されていますか(デバイスの準備ができていない、指定した保管場所に入らない、などのメッセージが表示される場合)?</p> <p>カードを装着して、RealJukeboxの[表示]メニュー-[更新]を行ってください。それでも転送できないときは、RealJukeboxを再起動してください。</p> <p>SDメモリーカードをお使いの場合、SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがロック側になっていませんか? ロックを解除してください。</p>

再生時

こんなとき	ここをお確かめください
再生できない	<p>音量を小さく絞っていませんか？ ミュージックプレーヤー側またはリモコン(CE-RH1)側で音量を適度に上げて聞いてください。 MI-E1独自の音楽著作権保護情報を書き込んだカードにMP3データを転送し、そのカード内のデータを別のカードにコピーしたものをMI-E1で再生しようとしていませんか？ 音楽著作権保護機能が働くため、いったんカードにコピーしたMP3データは、ほかのカードにコピーしてもMI-E1で再生することはできません。 「MP3プレーヤー」MOREソフトを転送しているコンパクトフラッシュメモリーカードを使用していませんか？ CE-AP1をご購入の方で、「MP3プレーヤー」MOREソフトを転送しているコンパクトフラッシュメモリーカードに入っている音楽データを再生するには、コンパクトフラッシュメモリーカードから「MP3プレーヤー」MOREソフトを削除しないと再生できません。</p>
リモコン(CE-RH1)のシャトルの▶▶を押しても、再生がスタートしない	<p>HOLD(誤動作防止)スイッチがオンになっていませんか？ オフにしてください(☞82ページ)。 (戻る)電源)キーを押していったん電源を入/切したあと、リモコン(CE-RH1)のシャトルの▶▶を押してみてください。</p>
ミュージックプレーヤーの画面に曲のタイトルが表示されない	<p>カードの内容を表示していない可能性があります。(機能)カード)キーをしばらく押して音楽データの入っているカードに切り替えてみてください。画面左上のアイコンを、SDメモリーカードの場合は、コンパクトフラッシュメモリーカードの場合はにします。 曲リストの更新を行ってください。 (操作メニュー)キーを押し、曲リスト更新)を選択し(決定)キーを押します。</p>
再生時、音飛びする	<p>いつも同じ箇所德音飛びするときは、パソコン上での録音時に問題があった可能性があります。その曲がCDから録音したものであれば、再度録音直してみてください。なお、RealJukeboxを使ってCDからMP3形式で録音するとき、ほかのアプリケーションを動かさないようにすることをお勧めします(☞136ページの「MP3で録音したデータが音飛びする」)。</p>

こんなとき	ここをお確かめください
音質が良くない	<p>RealJukeboxでCDから音楽データをMP3に変換して取り込むとき、ビットレートを56kbpsや64kbpsで録音すると音質が悪くなります。96kbpsで録音してください。</p> <p>曲に合わせた音質を選択していますか？</p> <p>音質はミュージックプレーヤー画面の「sound」にタッチして選ぶことができます。また、カスタマイズ設定を行えば、自分好みの音質に設定することができます(⇒84ページ)。</p>
再生時間の表示が実際と違う	<p>可変ビットレートで録音したMP3ファイルを再生していませんか？</p> <p>可変ビットレートで録音したMP3ファイルを再生した場合は、再生時間が正しく表示されないことがあります。</p>
音楽を再生中に、MOREソフトやほかの機能が働かないなど何らかの異常が発生する	<p>作業用メモリーの不足によって、音楽を再生中にフォトメモリーの路線図などを表示できない、あるいはMOREソフトが正常に動作しない場合には、再生を一時停止または停止してみてください。</p> <p>あるいは、使用していないIMOREソフトの実行を停止してみてください。</p>
再生時、音飛びする	<p>再生時にほかの画面を使っていると、使用の機能によっては音飛びが発生することがあります。音飛びが発生する場合には、その機能を使用しないようにしてください。</p>
再生時、ほかの画面の動作が遅くなる	<p>ミュージックプレーヤーを使って音楽再生中に、マンガを見たりブンコを読んだり、スケジュールを入力したりするなどほかの機能を使っていると、画面表示や文字入力などの動作が若干遅くなります。これは、この製品のCPUパワーの多くが音楽再生にかかるためです。</p>

デジタルカメラ

こんなとき	ここをお確かめください
画面に何も映らない (画面が黒または緑になる)	正しく接続されていないことが考えられます。デジタルカメラカードがこの製品のインターネットスロットの奥までしっかり挿入されていることを確認してください。 この製品の充電電池が消耗していると、デジタルカメラカードが使用できなくなることがあります。充電電池が消耗していないか確認してください。
画面が白っぽくなった	つゆ付き(結露)によって、画面が白くなり見にくくなることがあります。この製品の電源を切り1時間ほど放置してから、再度この製品の電源を入れて、くもりが消えたことを確かめてお使いください。
使用中突然動かなくなる	デジタルカメラカードがこの製品のインターネットスロットの奥までしっかり挿入されていることを確認してください。 この製品の充電電池の残量を確認してください。消耗しているとデジタルカメラカードが使用できなくなることがあります。
画像がきれいに映らない	レンズが汚れていませんか？ 汚れている場合は、綿棒などやわらかいもので軽く拭き取ってください。 適切な露光になっていますか？ 露光を調整してください(☞112ページ)。 ピント(フォーカス)が合っていますか？ フォーカス調整ダイヤルを回して調整してください(☞112ページ)。 赤外線を発するものを撮影していませんか？ 赤外線を発するものは、適正な色にならないことがあります。 明るく光るものを撮影すると横に帯状の線が出ます。これは背景とのコントラストが強いものを撮影したときに出る現象で、故障ではありません。 ACアダプターを使用して撮影すると、電源など外部からのノイズにより画面に小さな光点が現われることがありますが、故障ではありません。
撮影ができない	メモリーの空き容量を確認してください。空き容量が足りないと撮影できません。不要なデータを削除した後、メモリー整理を行い、メモリーを空けてください(☞『取扱説明書(基本編)』255ページ)。

さくいん

記号・その他

1曲リピート	83
ASF形式	27
CE-150TS	57
CE-155TS	57
CE-170TS	57
CE-175TU	57
CE-AG06	108
CE-PCK1	53
CE-RH1	21、36、58、82
CE-VR1	20、22、26
「DCMV」フォルダ	28、30
IrDA	122
MP3オーディオ	68
MP3ファイル	69
MPEG-4 ビデオレコーダー(CE-VR1)	20、22、26
PCカードアダプター	21、57
RealJukebox 2 Basic	101
インストール	60
設定変更	65
RealJukebox 2 Plus	101
SDメモリーカード	20、56
SDメモリーカード用PCカードアダプター	21、57
SHARP IR for Windows 98 Version 3.2	124
USB接続ケーブル	57
Windows 95	125
Windows 98	123
「_zaurus」フォルダ	16、28、30

あ行

明るさ	112、116
アニメーション	86
アニメーション表示設定	87
インストール(RealJukebox 2 Basic)....	60
インターネット	103
インターネットスロット	109
ウィークリー予約	46
オーガナイザー	76
オープニング画面	121
音楽著作権保護情報	69
音楽データ インターネットからの取り込み	103
カードに転送	69、75、78、97
再生	79
削除	91
作成	70
音質	72、84
音量	29、94

か行

カード	12、20、56
音楽データの転送	69、75、78、97
パソコンから転送	51
カード部	108
顔写真付きアドレス帳	118
拡大モード	31
画質	24、116
カスタマイズ	84
画像	116
メールに添付	120
画面OFF	85
画面デザイン	88
環境設定	68
曲送り曲戻し	93
曲順	90

曲リスト	96	所有者情報に顔写真	119
区切り線	32	ズーム	112、116
項目の表示幅	32、85	ステレオヘッドホン	21、58
コンパクトフラッシュメモリーカード用 PCカードアダプター	21、57	赤外線通信ドライバ	126
コンパクトフラッシュメモリーカード ...	20、56	全画面表示	114
		ソフトコレクションCD-ROM	16、56

さ行

再生	
音楽データ	79
開始位置	95
パソコンで音楽データ	104
ムービー	27
再生開始画面	89
再生モード設定	40
ザウルスプラグイン	73
ザウルスプラグイン for RealJukebox ...	64
削除	
音楽データ	91
動画データ	37
予約情報	50
撮影	111
撮影場所	116
撮影モード	111、115
サンプルムービー	
カードに転送	16
再生	18
自動マーク機能	29
自動連写	115
写真入力	118
シャッター音	113
シャッターボタン	108
縮小モード	31
手動連写	115
準備	
ミュージックプレーヤー	56
ムービープレーヤー	20

た行

タイトル入力	24
タイトル編集	39、92
著作権	13
デイリー予約	43
デジタル	72
デジタルカメラ	106
デジタルカメラカード	108
動作環境	58

な行

日時予約	23
ノーマル	83

は行

パソコン	
カードに転送	51
動作環境	58
パソコン接続ケーブル	57
パソコン連携キット(CE-PCK1)	53
早送り巻戻し	35、93
早送り巻戻し設定	41、93
光(赤外線)通信	122
光通信(IrDA)	123、125
光通信ポート	123、125
ビットレート	72
表示	
画像	117

表示切り替え	
ミュージックプレーヤー	85
ムービープレーヤー	31
表示項目	32、85
標準モード	31
フォーカス調整ダイヤル	108、112
フルスクリーンモード	31
プレビュー表示	33
分割数	115

ま行

マルチメディアカード(MMC)	20、56
マルチメディアカード(MMC)用 PCカードアダプター	21、57
ミュージックプレーヤー	54
ミュート(消音).....	29、36
ムービー	
再生	27
録画	22
ムービープレーヤー	14
ムービープレーヤー一覧画面	34
ムービープレーヤー再生画面	35
メールに画像添付	120
メビウス	123、125
メモリー切り替え	
ミュージックプレーヤー	81
ムービープレーヤー	30

や・ら・わ行

予約情報	23
確認・修正	49
削除	50
ランダム	83
ランダム・リピート	83
リピート	83

リモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH1)	21、36、58、82
レンズ	108
録音	
音楽CD	70
準備	56
録画	22
準備	20
録画予約	22、26、48
ウィークリー予約	46
デイリー予約	43
日時予約	23
録画予約(MPEG-4 ビデオレコーダー)機能	23

ニッパツ株式会社

本	社	〒545-8522	大阪市阿倍野区長池町22番22号 電話 (06) 6621-1221(大代表)
通信システム事業本部		〒639-1186	奈良県大和郡山市美濃庄町492
モバイルシステム事業部			電話 (0743) 63-5521(大代表)